

公益財団法人長野県産業振興機構

令和 7 年度事業報告

令和 8 年 5 月

目 次

法人運営	1
Ⅰ 理事会の開催	1
Ⅱ 評議員会の開催	2
Ⅲ 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和7年度）について	2
事業内容	4
第1 企画連携事業	
Ⅰ イノベーション創出プロジェクトの推進	4
Ⅱ 県内産業支援機関との連携に基づく支援体制の構築	5
Ⅲ 国際的産学官連携の推進	6
Ⅳ 産業界の課題解決に向けた取組の促進	6
Ⅴ 自動車産業におけるサプライヤーの事業転換推進	7
Ⅵ 企業に役立つ支援情報の発信	7
第2 新産業創出支援事業	
Ⅰ 次世代産業への支援	8
1 健康・医療産業分野への支援	8
2 航空宇宙産業分野への支援	11
3 食品産業分野への支援	12
Ⅱ グリーンイノベーションの推進	12
1 ゼロカーボン関連技術の事業化支援	12
2 競争的資金を活用した共同研究支援	14
Ⅲ 信州 IT バレー構想の推進	14
1 IT 産業振興に向けた支援	14
第3 経営支援事業	
Ⅰ 相談支援	19
1 よろず支援拠点事業の展開	19
Ⅱ 新事業創出・経営革新等支援	19
1 創業支援	19
2 経営革新等支援	20
Ⅲ マーケティング支援	21
1 総合支援	21
2 生産財販路開拓支援	22
3 消費財販路開拓支援	27
Ⅳ 企業再生支援	31
1 企業再生支援	31
Ⅴ 事業承継・引継ぎ支援	32
1 事業承継・引継ぎ支援	32
第4 地域センター事業	
Ⅰ 長野センター	33
1 地域企業ニーズに基づく事業の推進	33
2 県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業の推進	35
3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開	36
4 共通基盤事業（コーディネート活動等）	36

Ⅱ	上田センター	37
1	地域企業ニーズに基づく事業の推進	37
2	県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業の推進	40
3	顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開	41
4	共通基盤事業（コーディネート活動等）	41
Ⅲ	松本センター	42
1	地域企業ニーズに基づく事業の推進	42
2	県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業の推進	43
3	顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開	44
4	共通基盤事業（コーディネート活動等）	45
Ⅳ	諏訪センター	46
1	地域企業ニーズに基づく事業の推進	46
2	県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業の推進	48
3	顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開	49
4	共通基盤事業（コーディネート活動等）	51
Ⅴ	伊那センター	52
1	地域企業ニーズに基づく事業の推進	52
2	県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業の推進	54
3	顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開	55
4	共通基盤事業（コーディネート活動等）	55
	事業報告の付属明細書	57

法人運営

I 理事会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和7年 4月16日	書面表決	理事会 ・ 評議員候補者の決定について ・ 第1回評議員会の開催について
令和7年 6月2日	長野市	理事会（決算） ・ 令和6年度事業報告の承認について ・ 令和6年度収支決算の承認について ・ 監事候補者の決定について ・ 第2回評議員会（定時評議員会）の開催について ・ 職務の執行状況（令和7年3月以降）について【報告事項】 ・ 第1回理事会の結果について【報告事項】 ・ 理事就任前の取引の結果について【報告事項】
令和7年 7月14日	書面表決	理事会 ・ 令和7年度事業計画の一部変更に係る専決処分承認について ・ 令和7年度収支補正予算に係る専決処分承認について ・ 監事候補者の決定について ・ 第3回評議員会の開催について
令和7年 9月12日	書面表決	理事会 ・ 令和7年度収支補正予算の承認について ・ 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みの変更承認について ・ 評議員候補者の決定について ・ 第4回評議員会の開催について
令和7年 10月30日	長野市	理事会（臨時） ・ 令和6年度事業報告の訂正について ・ 基本財産の再運用について【報告事項】 ・ 令和7年度事業の進捗状況について【報告事項】 ・ 職務の執行状況（令和7年6月以降）について【報告事項】 ・ 第3回及び第4回理事会の結果について【報告事項】
令和8年 3月17日	長野市	理事会（予算） ・ 令和8年度事業計画の承認について ・ 令和8年度収支予算の承認について ・ 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みの承認について ・ 会計監査人に対する報酬等の額の承認について ・ 役員等の報酬並びに費用に関する規則の一部改正案の決定について ・ 理事候補者の決定について ・ 第5回評議員会の開催について ・ 基本財産等の運用について【報告事項】 ・ 職務の執行状況（令和7年10月以降）について【報告事項】

開催期日	場所等	議決事項等
令和 8 年 3 月 31 日	書面表決	理事会 ・専務理事の選定について ・常務理事の選定について ・常勤理事の報酬額の決定について ・資産運用責任者の任命の承認について ・理事の利益相反取引の承認について

II 評議員会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和 7 年 4 月 25 日	書面表決	評議員会 ・評議員の選任について
令和 7 年 6 月 17 日	長野市	定時評議員会 ・監事の選任について ・令和 6 年度事業報告について【報告事項】 ・令和 6 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び キャッシュ・フロー計算書について【報告事項】 ・令和 7 年度事業計画及び収支予算について【報告事項】 ・基本財産等の運用状況について【報告事項】 ・第 1 回評議員会の結果について【報告事項】
令和 7 年 7 月 24 日	書面表決	評議員会 ・監事の選任について
令和 7 年 9 月 26 日	書面表決	評議員会 ・評議員の選任について
令和 8 年 3 月 24 日	書面表決	評議員会 ・理事の選任について ・役員等の報酬並びに費用に関する規則の一部改正について

III 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和 7 年度）について

公平・公正かつ効率的な業務遂行のため、内部統制に関する基本方針（令和 4 年 11 月 2 日制定）に基づき次のとおり実施した。

1 コンプライアンス会議の開催状況

(1) 第 1 回（令和 7 年 8 月 26 日）

- 情報漏えいにつながるリスクについて
- 個人情報保護方針の対応について
- 個人情報の取り扱いに関する同意書について
- 秘密保持誓約書の電子締結について
- 非違行為や職場環境を害する行為の防止について

(2) 第2回（令和7年9月30日）

- メールの誤送信対策について
- 報連相の徹底について

2 内部通報窓口（専用メールアドレス）への通報状況

(1) 通報窓口（機構本部内）

ア 通報対象

- 法令違反又はその恐れのある行為
- 定款を含む内部規定違反又はその恐れのある行為
- ハラスメント等の職場環境を害する行為
- その他の不正行為

イ 通報先

専務理事及び専務理事が指定する常務理事

ウ 実績

0件

(2) 通報窓口（機構本部外）増設（令和7年11月4日運用開始）

ア 通報対象

- 重大な法令及び定款違反又はその恐れのある行為
- 理事の不正など機構に著しい損害を及ぼす恐れのある行為
- その他機構本部内では対応が困難な事項

イ 通報先

弓場 法 監事

ウ 実績

0件

事業内容

【公益目的事業の位置づけ】

各事業の公益目的事業について、各事業項目の最後に下記の略称を付す。

◇相談支援事業＝（相） ◇産学官交流事業＝（交） ◇新産業創出・経営革新支援事業＝（創）
◇共同研究等推進事業＝（共） ◇マーケティング支援事業＝（マ） ◇人材育成事業＝（人）
◇広報等事業＝（広） ◇企業再生・事業承継支援事業＝（承）

第1 企画連携事業

機構本部間及び地域センターとの情報共有の強化とセクション横断的な事業の実施により、県内企業が取り組むプロジェクトの企画・研究開発段階から事業化、販路開拓に至るまでの様々なステージに応じた支援を実施した。

また、県内各地域の産業支援機関との連携強化により、一貫支援機能の深化を図るとともに、産業支援機関職員の資質向上及び支援制度や取組成果等の積極的かつ効果的な情報発信を推進し、支援事業の活用を促進した。

I イノベーション創出プロジェクトの推進

1 プロジェクトの芽出し（創）（共）

実績	コーディネート活動件数 281 件
----	-------------------

プロジェクトマネージャー等を配置し、イノベーションの創出を目指した他分野展開や他業種企業の協業創出等に繋がるモデル事例となりうるプロジェクトの組成に向けて、企業や大学等に対するコーディネート活動を展開したほか、県内企業が大学等と連携して取り組む研究会等の中から先進的で新たなプロジェクトへの発展が期待される取組については、実証に対する財政的支援も含め、伴走支援を実施した。

2 プロジェクトの推進（創）

実績	プロジェクト推進件数 13 件
----	-----------------

発掘したプロジェクトのうち 13 件のプロジェクトを認定し、長野県工業技術総合センター、（独）日本貿易振興機構長野貿易センター、（一社）長野県発明協会等と連携し、プロジェクトマネージャーを中心としたハンズオン支援を行った。

また、イノベーション創出支援補助金（補助率 1/2 以内、上限 200 万円/件）により、事業化開発や販路開拓など認定企業の事業ステージに応じた取組を支援した。

Ⅱ 県内産業支援機関との連携に基づく支援体制の構築

1 ながの産業支援ネット会議の開催（相）（交）

実績	ながの産業支援ネット連携推進会議開催 2 回
----	------------------------

ながの産業支援ネット連携推進会議を開催し、県や関東経済産業局、県内の商工団体等の支援策の共有やコーディネーター等情報共有データベースの更新などを行い、支援機関同士の連携強化を図った。

名称	開催期日	開催方式	参加者数	内 容
令和 7 年度 ながの産業支援ネット連携推進会議	令和 7 年 4 月 22 日	オンライン	102 名	機構、県、関東経済産業局、その他支援機関からの支援施策等の情報提供等
令和 7 年度 第 2 回ながの産業支援ネット連携推進会議	令和 8 年 1 月 21 日	オンライン	95 名	

2 産業支援機関の支援スキル向上（相）

実績	コーディネーター研修会開催 1 回 NICE Information Channel の開催 9 回
----	---

(1) コーディネーター研修会の開催

機構内職員間の連携を促すとともに職員の資質向上を目的に、機構内で豊富な成果事例を持つコーディネーターらを講師として、コーディネーター研修会をオンラインで 1 回開催した。

開催期日	内 容
令和 7 年 5 月 12 日	内田専務理事による講話「NICE の役割と今後の課題」

(2) NICE Information Channel

本部各セクションの事業担当者等から取組や成果の報告を行うとともに、海外展示会の出展状況のライブ中継等を共有し今後の支援に活かすため、オンラインを活用した職員間の情報発信番組「NIC (NICE Information Channel)」を 6 月から 2 月までに 9 回開催した。

(3) コーディネーター Information

各セクションの事業や補助金等の支援制度を職員が把握するとともに県内企業へ紹介するため、「支援制度のご案内」及び「コーディネーター及び推進員紹介」を作成することで、職員間の情報共有の強化を図った。

Ⅲ 国際的産学官連携の推進

1 国際的な技術交流の推進（共）

Pool-net（金型、切削加工関連企業や大学等で構成するポルトガルの産業支援機関）や Foodvalley（官民連携で設立されたオランダの食品関連の技術開発支援機関）など、国際的な支援機関との連携・交流を継続した。

2 グローバル展開実践カレッジ（人）

実績	グローバル展開実践カレッジの開催 11 回
----	-----------------------

海外ビジネスにおけるプレゼンテーションや海外展示商談会を想定した実践的な英語コミュニケーション力を学ぶ講座「グローバル展開実践カレッジ」の初級者向け及び中級者向けとフライヤー作成講座を、長野工業高等専門学校と共催で開講した。

開催期日	主な内容	参加者数
令和 7 年 5 月から 令和 7 年 7 月（3 回）	ビジネス英語講座初めの一歩＜初心者編＞ 3 ステップでビジネス英語を習得する！	延べ 29 名
令和 7 年 7 月から 令和 7 年 10 月（4 回）	ビジネス英語コミュニケーション講座＜中級編＞ ロールプレイを通して実際の場面や状況を想定し、 適切に対応するコミュニケーション能力を高めよう！	延べ 60 名
令和 7 年 11 月から 令和 8 年 2 月（4 回）	ビジネス英語ディスカッション講座 ＜中・上級編＞ 講師や参加者とのディスカッションを通じて、実践力を身につけよう！	延べ 46 名

Ⅳ 産業界の課題解決に向けた取組の促進

1 地域社会課題の解決を目指す共同企画セミナーの開催（交）

実績	NICE イノベーションセミナーの開催 3 回
----	-------------------------

地域企業のニーズや最新技術、市場動向、社会課題などの情報を提供するために企画・開催する研修会・セミナーなどのイベントについては、地域センターと本部が連携して企画し「NICE イノベーションセミナー」として開催した（企画にあたっては、セミナー等企画運営委員会を 3 回開催した）。

開催回	地域	開催期日	セミナータイトル	連携部署・機関
1	長野 上田	令和 7 年 8 月 18 日	オリックスレンテック(株)大型 金属 3D プリンターおよび活 用事例紹介	長野センター 長野県工業技術総合センター 信州 AM 研究会 さかきテクノセンター
2	松本	令和 7 年 9 月 19 日	次世代バイオ燃料による 2050 年カーボンニュートラルの実 現に向けて	松本センター グリーンイノベーション推進部 塩尻市振興公社 松本地域産学官連絡会
3	諏訪 伊那	令和 7 年 11 月 10 日	次世代スマートファクトリー 実現のためのデジタルツイン	諏訪センター

2 デジタル人材の確保支援（相）

実績	相談件数 235 件（うちデジタル分野 124 件）
----	----------------------------

長野県プロフェッショナル人材戦略拠点から委託を受け、デジタル担当マネージャーを各地域センターに配置し、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしにより、地域企業のデジタル活用促進及びデジタル人材確保を支援した。

V 自動車産業におけるサプライヤーの事業転換推進

1 相談窓口の設置・運営（相）

実績	相談件数 65 件（支援企業数 50 社）
----	-----------------------

プロジェクトマネージャー等を配置し、県内の自動車関係部品を製造する事業者からの事業転換に係る相談や新たに次世代自動車産業へ参入を目指す事業者等からの相談に対応した。

2 セミナー・実地研修等の実施（創）

実績	次世代モビリティ関連技術講座 3 回 EV 分解展示実地研修会 1 回
----	--

次世代自動車産業へ参入しようとする県内事業者の機運の醸成や既に自動車関係部品を製造する県内事業者を支援するため、次世代モビリティ関連技術講座、EV 分解展示実地研修会を開催し、県内製造業による次世代自動車産業への参入促進を図った。

名称	開催期日	開催方式	参加企業数	内 容
次世代モビリティ関連技術講座	令和 7 年 7 月から 令和 8 年 1 月（3 回）	対面及び オンライン	100 社	CASE 対応に伴い必要となる技術や設計生産システムなどの技術動向
EV 分解展示 実地研修会	令和 7 年 10 月 29 日	対面	36 社	EV に実際に構成されている部品を見て、参入可能性を検討

3 専門家派遣の実施（創）

実績	専門家派遣 6 回（支援企業数 2 社）
----	----------------------

県内事業者からプロジェクトマネージャー等が聞き取った次世代自動車産業へ参入する際の様々な課題について、より専門性の高い課題の解決を図るため、国事業で登録された各分野の専門家を派遣するとともに、プロジェクトマネージャー等によるフォローアップを行った。

VI 企業に役立つ支援情報の発信

1 支援制度説明会等の開催（共）

実績	支援制度説明会等の開催 4 回
----	-----------------

支援制度の活用促進を図るため、機構及び国・県等の提案公募型補助制度に関する説明会や制度の担当者による個別相談会を開催するとともに、機構コーディネーター等による申請書の

ブラッシュアップを実施した。

名称	開催期日	開催方式	参加者数	内 容
長野県産業振興 機構支援制度説 明会	令和 7 年 4 月 25 日	オンライン	150 名	機構の補助制度・支援 制度の説明、支援事例 等の紹介
Go-Tech 業務説 明会・個別相談会	令和 7 年 11 月 27 日	オンライン	21 名	Go-Tech 事業等の紹介
研究開発等支援 制度説明会	令和 8 年 2 月 18 日	対面及び オンライン	63 名	関東経済産業局や機構 の次年度事業の紹介
補助金事業制度 説明会	令和 8 年 3 月 12 日	対面及び オンライン	64 名	県や成長産業支援補助 金の成果報告

2 積極的な広報活動の推進（広）

実績	情報発信件数（総数） 228 件
----	------------------

機構の認知度向上のため、機構ホームページやメールマガジン、デジタル広報誌等により、支援施策やセミナー等の情報発信を積極的に行い、支援施策の活用促進を図った。

項目	令和 7 年度実績
新聞等掲載件数	61 件
講演依頼等対応件数	62 件
共催・後援等承諾件数	51 件
デジタル広報誌発行回数	2 回
機構メールマガジン配信回数	52 回

第2 新産業創出支援事業

「長野県産業振興プラン」及び同プランに関連する産業振興ビジョンに基づき、社会及び経済の変化を捉えた新産業創出を重点課題とし、企業が成長期待分野（健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通、IT、食品など）へ事業展開を図るため、様々な支援制度の活用、研究会の実施及び提案公募制度を活用した研究開発プロジェクトの組成等を支援し、産学官連携による産業イノベーション創出に努めた。

I 次世代産業への支援

1 健康・医療産業分野への支援

実績	医工連携技術展示商談会によるマッチング支援件数 15 社 アドバイザーによる相談支援件数 9 件 技術開発補助金による支援件数 5 件 信州大学医療機器産業人材育成プログラムの受講者数 37 名 国際展示会への出展支援企業数 5 社
----	--

長野県医療機器産業振興ビジョンに基づき、機構及び信州大学内に設置した「信州医療機器事業化開発センター」により、新たな医療機器の開発・事業化と、医療機器開発人材の育成を推進した。

(1) 医工連携プロジェクトマネージャー等による伴走支援事業（創）

県内企業の医療機器産業への参入促進と事業拡大を促進するため、医工連携プロジェクトマネージャー等が医療現場等のニーズ探索や医工連携の推進など医療機器開発の企画から販路拡大までを支援した。

内 容	企業数等
病院等のニーズ調査	調査病院等：17 者
拡販ツアー（医療機器メーカーへの売込み）	売込先企業：11 社
医療機器等開発支援（服薬支援器具の商品化）	記者発表：1 件

○医工連携技術展示商談会

開催期日	参加事業者数	内 容
令和7年9月8日	15 社	日本橋 LS ビル(東京都) 来場企業数：58 社、NDA 締結：3 件、試作依頼：2 件

○長野県医工連携セミナー

開催期日	参加者数	内 容
第6回 令和7年8月28日	59 名	「血管吻合専用ロボットの開発研究」 九州大学病院 形成外科 診療教授 門田英輝 氏
第7回 令和8年1月26日	43 名	「肝胆膵・移植外科領域における最先端技術と課題」 信州大学医学部外科学教室 教授 副島雄二 氏

(2) アドバイザーによる相談支援事業（創）

県内企業が抱える医療機器等の事業化における課題に対し、品質マネジメントシステムや医学などの専門的知識・ノウハウを持つアドバイザーを派遣し、円滑な事業展開に向け助言・提案した。

内 容	件数等
薬事・保険収載相談件数（信州大学へ委託）	3 件
アドバイザーへの相談件数	6 件

(3) 医療機器開発における産業動向調査事業（創）

今後の医療機器産業振興施策について、産業動向の変化に対応するため、長野県及び信州大学とともに具体的なアプローチ方法を検討した。

内 容	回数等
三者（当機構・県・信州大学）検討会	6 回
事業者ヒアリング	5 社
池野名誉センター長との意見交換会	1 回

(4) 医療機器等開発補助事業（共）

県内企業が医療機器等（医療機器、福祉用具及びヘルスケア製品等）の実用化を目的とした試作開発及び販路開拓に対して経費の一部を補助した。

補助事業者（所在地）	開発テーマ
YITOAマイクロテクノロジー(株)（茅野市）	救命救急通報システムの商品化
野村ユニソン(株)（茅野市）	nanoSUS®技術を用いた消化器用クリップと顕微鏡下手術器具の開発
(株)ウイルダイフレックス（上田市）	薄型疼痛緩和装置の開発
ZESTIA(株)（飯田市）	灌流液点滴残量アラームの設計開発
(株)ケーアンドケー（諏訪市）	空中ディスプレイ大画面化（血管カテーテルナビゲーション補助装置開発）

(5) 医療機器開発人材育成プログラム運営事業（信州大学へ委託）（人）

医療機器産業へ参入にあたり必要となる医学的知識や法規制等の知識を習得するため「信州大学医療機器産業人材育成プログラム」を開設し、研究開発人材の育成に努めた。

内 容	参加者数
2025 年度信州大学医療機器産業人材育成プログラム	37 名

(6) 医療機器技術マッチング支援事業（創）

医療機器メーカー等とのマッチング機会や支援企業の受賞申請など、県内製造業の事業化を支援した。

内 容	件数等
Medtec Japan 2025「Medtech 大賞」（令和 7 年 4 月 9 日） ※支援中の 2 社が受賞 野村ユニソン(株)が優秀賞、FS エイコー(株)が努力賞を受賞	2 社

(7) 国内外医療機器メーカーへの技術 P R 事業（マ）

医療機器等分野の国際的な展示商談会に出展もしくは出展提案し、特徴ある技術を P R することで販路開拓を支援した。

開催期間	内 容（開催地）	出展企業数等
令和 7 年 4 月 9～11 日	Medtec Japan 2025（東京都）	19 社
令和 7 年 6 月 25～27 日	Japan Health 2025（大阪市）	4 社
令和 7 年 9 月 25～26 日	信州・浜松拠点間交流会（浜松市）	64 者参加
令和 7 年 10 月 21～22 日	MD&M Midwest（ミネアポリス）	※
令和 8 年 2 月 9～12 日	WHX Dubai 2026（ドバイ）	1 社
令和 8 年 3 月 16～17 日	メディカルメッセ 2026（名古屋市）	6 社

※ 次年度出展に向けて当機構職員が視察

2 航空宇宙産業分野への支援

実績	人材育成補助金による支援 3 社 研修会等の開催回数 4 回 技術開発補助金による支援件数 4 件
----	---

民間航空機の需要拡大及び新興国市場における根強い航路需要の牽引が期待される中、県内企業の新たな技術分野への挑戦等を支援した。

(1) 航空機産業支援機能強化事業（創）

「長野県航空機産業振興ビジョン」及び「長野県における航空機産業振興の当面の対応方針」に基づき、機構本部及び飯田サテライトに専任コーディネーターを配置し、NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットの共同事務局運営及び県内事業者の事業化を支援した。

内 容	件数等
テクノコーディネーターによる支援	延べ 112 件
NAGANO 航空宇宙産業クラスターネット会員	108 者（3 者増）

(2) 航空機部品品質保証力等強化事業（人）

研修会等への参加費用及び事業所内研修に係る費用の一部を補助、また、品質保証に関する研修会を開催し、航空機産業人材の育成に努めた。

○航空機産業人材育成補助金

補助分野	補助事業者（所在地）
人材育成	(株)みすず総合コンサルタント（上田市）
社内体制整備	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市）
	(株)NEXAS（飯田市）

○研修会

開催期日	研修会名称	参加者数
令和 7 年 7 月 10, 11 日	JISQ9100 内部監査員養成研修	4 社 12 名
令和 7 年 7 月 31 日	航空機産業機械加工技術セミナー	23 社 45 名
令和 7 年 11 月 13, 14 日	品質保証まるわかりセミナー	6 社 7 名
令和 8 年 1 月 23 日	航空機産業人材育成セミナー	4 社 7 名

(3) 航空機システム等研究開発支援事業（共）

航空機システム産業における新たなニーズ等に対応するため、県内企業や大学等が行うニーズの新技术の具現化に向けた研究開発に対して経費の一部を補助した。

補助事業者（所在地）	研究開発テーマ
(株)Henry Monitor（諏訪市）	航空機エンジン部品他航空機等の構成部品の高度化を目指した金属組織非破壊評価システムの研究開発
信州大学（長野市）	数値計算および推力測定による軸流推進翼の高効率化
(有)ナツバタ製作所（須坂市）	航空機エンジン部品素材の超難削材の加工速度向上と切削効率化
信州大学（松本市）	環境に優しい社会に貢献する航空機ブレーキシステム研究開発

(4) 航空機関連展示会出展支援事業（マ）

航空機関連企業とのビジネスマッチングを促進するため、国際航空宇宙展「エアロマート名古屋 2025」へ出展した。

開催期間	内 容（開催地）	出展企業数等
令和 7 年 9 月 24～26 日	エアロマート名古屋 2025（名古屋市）	5 社 商談件数 86 件

3 食品産業分野への支援

実績	新たな商品開発に向けた支援件数 延べ 279 件 フードテックに関する研究会の設置・運営件数 3 件
----	---

「長野県食品製造業振興ビジョン 2.0」に基づき、健康志向や安全性基準に適合したサステナブルな「食」に対する需要に対応するため、関係機関と連携して、フードテックの取組を支援した。

(1) 信州フードテック転換支援事業（創）

ア フードテックプロジェクトマネージャーを配置し、新たな食品開発を支援

内 容	件数等
フードテックプロジェクトマネージャーによる支援	延べ 279 件

イ フードテックに関する研究会の運営

開催期日等	研修会名称等	参加者数
令和 7 年 8 月 1 日	信州発酵フードテック研究会	35 名
令和 7 年 10 月 2 日	信州食品産業資源有効活用研究会	30 名
令和 8 年 3 月 4 日解散	きのこ機能性食品開発研究会 当初の目標である知的財産権の登録を達成したため解散	

II グリーンイノベーションの推進

実績	ゼロカーボン関連技術に関する研究会の設置・運営件数 5 件 技術開発補助金による支援件数 5 件 提案公募型研究開発プロジェクト運営件数 6 件
----	--

1 ゼロカーボン関連技術の事業化支援

「長野県ゼロカーボン戦略」の実現に向け、県内製造業による新たなゼロカーボン関連技術の開発や導入を支援し、産業イノベーションの創出に努めた。

(1) ゼロカーボン技術事業化促進事業（創）

本部内に専門人材を配置し、新たな研究開発プロジェクトを創出するため、県内企業・大学等で構成する研究会を設置・運営した。

研究会	事業内容	開催状況	参加者数等
信州酸化ガリウムデバイス化研究会	信州大学で開発された酸化ガリウム単結晶を用いてデバイス化を目指す産学官連携プロジェクト	連絡会議 1回開催	会員数 7社
サーキュラーエコノミーイノベーション研究会	県内製造業によるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の社会実装に向けた研究会	4回	延べ282名
グリーン水素イノベーション研究会※ ¹	県内におけるグリーン水素の製造、貯蔵・輸送、利活用に関する技術普及を目指す研究会	3回※ ²	延べ243名
小規模水力発電研究会	小規模水力発電を普及するため、産学官連携のもと様々な技術的・社会的な課題解決を目指す研究会	3回	延べ182名

※¹ 旧：工業用燃料電池システム研究会

※² うち、1回は水素化ホウ素（水素化ホウ素ナトリウム）活用プロジェクト検討会

(2) ゼロカーボン技術事業化支援事業（創）

ゼロカーボン関連製品・技術開発について、製品化までのプロセスを加速化するための開発等の経費の一部を補助した。

補助事業者（所在地）	研究開発内容
㈱大澤屋（長野市）	食品残渣等の未利用資源を用いた環境負荷軽減飼料の製造・販売の事業化
㈱共進（諏訪市）	温泉資源の保護と有効利用を両立する客室用温泉風呂の自動温度調整システムの開発
㈱サーリユーション（伊那市）	小型電力計を用いたCO ₂ 排出量可視化システムの開発
シントク㈱（諏訪市）	小型水素発電システムの開発と実証
㈱前田鉄工所（須坂市）	カーボンニュートラルを実現するエネルギーであるバイオメタン・e-メタンの製造装置で必要な、高圧ガスタンク、熱交換器等の製造技術開発

(3) カーボン排出量可視化・削減支援事業（創）

県内企業のカーボン排出量を算定・可視化を支援するため、長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門と連携し、LCA（製品等のライフサイクルの環境負荷を数値化する手法）等に関する研修会を開催した。

研究会	事業内容	開催状況	参加者数
環境コミュニケーション実践研究会	ライフサイクルアセスメント（LCA）の観点からカーボン排出量の削減を推進する研究会	4回※ ¹	延べ62名

※¹ うち、1回は成果報告会（県工業技術総合センターと共催）

(4) エレクトロニクス技術の高度化（創）（再掲）

省エネ、省電力等の環境負荷低減に貢献するため、新たな技術革新や新材料技術等の高度化を促進し、県内企業の持続的発展と新ビジネスの創成を目指す研究会を運営した。

研究会	事業内容	開催状況	参加者数
磁気エレクトロニクス研究会	磁気デバイスの高度化、小型化に向けた技術開発の促進を図る。	1回※2	27名
次世代パワーエレクトロニクス研究会	次世代パワーデバイス（次世代半導体）の製造技術・実装技術の開発、新ビジネス創成を目指す。	2回※2	延べ68名

※2 磁気エレクトロニクス研究会と第2回次世代パワーエレクトロニクス研究会の共同開催

2 競争的資金を活用した共同研究支援（共）

経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）等の競争的資金を獲得し、採択された研究開発プロジェクトに対し、事業管理機関として研究開発の円滑な推進に努めた。

研究開発計画名	主たる中小企業	連携 大学・公設試等	計画期間 (年度)
カーボンニュートラル対応水素・燃料電池を用いたトライ・ジェネレーション・システムの製品化開発	マイクロコントロールシステムズ(株) (佐久市)	信州大学	令和5～7
微細 TGV（ガラス貫通孔付き）のインターポザーの研究開発	(株)ニチワ工業 (茅野市)	諏訪東京理科大学	令和5～7
超精密転写・切断・形状修正による高精度強湾曲 X 線ミラー製造プロセスの開発	夏目光学(株) (飯田市)	東京大学	令和5～7
複雑形状をした中・小型部品向け炭素繊維強化プラスチック（CFRP）テープ積層装置の開発	アスリート FA(株) (諏訪市)	金沢工業大学	令和6～8
塑性流動性結合技術の異種積層材への拡張と自動車、産業機器、家電品等への応用	太陽工業(株) (茅野市)	千葉工業大学 県工業技術総合センター	令和6～8
特殊加工による電動モビリティ向け高占積率コイルの成形技術開発	(株)寿精工 (岡谷市)	諏訪東京理科大学	令和7～9

Ⅲ 信州 IT バレー構想の推進

1 IT 産業振興に向けた支援

実績	コンソーシアム活用型 IT ビジネス創出支援件数 10 件 相談件数（産業 DX 推進） 延べ162 件 ソリューション掲載件数（デジタル化一貫支援） 276 件
----	---

(1) 推進協議会運営事業（交）

IT バレー推進部に専門人材であるコーディネーター等を配置し、信州 IT バレー推進協議会（NIT）の事務局として、IT 人材・IT 産業の集積、県内産業の DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や高度化の加速に努めた。

ア 企業が持つ経営課題と県内 IT 企業や IT 人材とのマッチングを図るため、これらが

持つデジタルソリューションをマッチングサイト「NIX（NAGANO INFOTECH CROSSING）」から「長野県デジタル化一貫支援サイト」へ機能の一部を統合した。

イ NIT 事務局や構成員が実施している支援施策を周知するため、HP や SNS 等を活用して国内外へ情報を発信した。

記事投稿件数	メールマガジン配信件数
39 件	38 件

ウ 県内外の支援機関等が集う場の形成を支援し、新たな IT システム開発を促進するため、NIT 事務局会議や NIT プランシエアカフェを開催した。

事業	内 容	参加者数
NIT事務局会議	協議会の施策内容の情報交換、検討	—
NITプランシエアカフェ	構成員相互情報発信や交流	延べ 136 名

エ 産学官民連携による IT 人材の高度化のため、ものづくり技術を有する DX 人材の育成を目的とした信州 P-Tech コンソーシアムへ参画した。

(2) コンソーシアム活用型 IT ビジネス創出支援事業（共）

県内 IT 企業のビジネスを創出し、産学官による共創の場（エコシステム）の形成を支援するため、観光や交通などの地域資源の活用や地域課題の解決等に資する IT システムの開発を支援した。

ア 産学官協働プロジェクト生成支援

産学官協働プロジェクトの生成を行うため、NIT 構成員である一般社団法人信州産学みらい共創会が推進している観光 DX 事業を支援した。

(ア) 「Snow Travel Expo 2025」への出展支援

(イ) 「観光・地域活性化 DX コンソーシアム（長野市 HUB プロジェクト）」との連携

イ 「プロジェクト共創ネットワーク」の活動支援

信州 IT バレー構想実現の加速化に向けて、令和 4 年 11 月に発足した「プロジェクト共創ネットワーク」内における下記の部会と連携し、セミナーやワークショップを実施した。

部会名	セミナー等名称	開催期日
グローバル部会	EJEA カンファレンス 2025	令和 7 年 9 月 10 日～9 月 12 日

ウ IT 中小企業等へのシステム開発支援

県内 IT 中小企業の産学官連携コンソーシアムによる IT システム開発を支援するため、観光や防災などの地域課題の解決、画像解析やブロックチェーンなど地域に新たな価値を創出する研究開発に補助金（補助率 1/2 以内、上限額 400 万円/件）を交付するとともに、成果報告会を開催した。

補助対象者（所在地）	開発テーマ
アルティメイトプロジェクト(株) （諏訪市）	サーモグラフィと AI カメラによる個別商品の検温システム～配達用食品の現場でのスマート検品～
E T C システム(株)（佐久市）	可搬型 ETC 交通調査システムサービス開発 ～交通 DX の実現に向けて～
(株)北アルプスの風（安曇野市）	AI 搭載の個別介護計画書作成アプリ「Jumble Sheets アプリ」の開発～利用者中心のパーソナルケアの実現に向けて～
(株)SKIDAY（北安曇郡白馬村）	AI によるライブカメラ画像解析と最新の地域情報提供システムの構築～観光&防災と地域活性化への貢献～
炭平コンピューターシステム(株) （長野市）	「わがまちカーボンクレジット NAGANO」開発 ～地域経済活性化と脱炭素推進に向けて～
ファミリー・サービス・エイコー (株)（長野市）	スマートウォーターサーバーのプラットフォームの開発～IoT による使用状況の可視化とデータ活用で、ペットボトル利用削減を促す行動変容へ～
(株)フィールドデザイン（長野市）	観光ガイド・マッチング予約システム開発 ～信州発 観光・地域活性化 DX コンソーシアムプロジェクト「Snow Hub Nagano City」の新たな展開～
マリモ電子工業(株)（上田市）	最先端システムの開発に使える小型・ローコストの高性能キャリアボードの開発
(株)ラポーザ（長野市）	エッジコンピューティングによる画像解析技術と通信コストを最小化した IoT システム構築の実用化研究
(株)RINDO（伊那市）	地域林業の持続可能な雇用創出を実現する採用 DX プラットフォームの開発

○長野県産業振興機構補助事業（コンソーシアム活用型 I T ビジネス創出支援事業等）成果報告会

開催期日	開催方式	内容	参加者数
令和 8 年 3 月 12 日	対面及び オンライン	補助事業者 10 件の IT システム開発プロジェクトの成果発表	44 名

(3) 産業 DX 推進事業（交）

産業 DX コーディネーターを 2 名配置し、DX の推進やデジタル技術の活用に関する県内事業者等からの相談に対応するとともに、セミナー等を通して人材育成を支援した。

ア 産業 DX コーディネーターによる相談対応

県内事業者等の DX の推進や AI・IoT 等デジタル技術の活用を支援するため、経営効率化、経営革新などに関する相談に対応した。

相談件数：延べ 162 件

イ セミナー・研修会等の開催

経営課題に対するデジタル化の導入（必要性の有無を含む）検討を促すため、県内事業者や IT 企業、産業支援機関など、地域産業の DX 等を進める者を対象としたセミナー・研修を開催した。

○セミナー

セミナー名	開催期日	開催場所（方式）	参加者数
IT じゃなくて仕組みだった！？今こそ見直したい経営の整え方	令和 7 年 7 月 24 日	長野県立図書館 信州・創造ラボ及びオンライン	49 名
製造業のための IT 技術活用セミナー	令和 7 年 8 月 5 日	坂城テクノセンター大研修室及びオンライン	60 名
「新時代を切り拓くカギはデジタル人材！～戦国の知将・真田幸隆に学ぶ、変革期に生き残る秘訣～」	令和 7 年 10 月 6 日	ワークテラス佐久及びオンライン	53 名
産業 DX 推進事業で見えた成果と課題 -長野県の支援事例と現場の声-	令和 8 年 2 月 18 日	ホテル信濃路及びオンライン	71 名

○研修

研修名	開催期日	開催場所	参加者数
現場課題解決力養成講座（全 8 回）	令和 7 年 11 月 5 日～ 令和 8 年 2 月 17 日	ワークテラス佐久他	12 名

ウ 講師派遣等による人材育成支援

県内事業者等の DX の推進やデジタル技術の活用を促進するため、以下の講演依頼に対応した。

名称	対応期日
「生成 AI の活用」（一般社団法人上田法人会東御支部通常総会）	令和 7 年 5 月 30 日
「AI 活用について」（長野県商工会職員協議会 県連支部 研修会）	令和 7 年 12 月 5 日
「生産性向上につながった成功事例の紹介と支援機関へのアドバイス」（上田地域人財確保・生産性向上連携会議：上田地域振興局 商工観光課）	令和 8 年 2 月 5 日

エ マッチング支援

DX の推進やデジタル技術の活用を進めたい県内事業者等と IT 企業とのマッチング支援を行うため、県内 IT 関連企業 404 社を対象に実態および課題を把握するためのアンケート調査を実施した。

(4) デジタル化一貫支援体制整備事業（創）

県内事業者等における省力化等に寄与するデジタル化を支援するための専門人材を配置するとともにデジタル化を支援する一貫体制を整備し、関係機関と連携したセミナー等を実施した。

ア 長野県デジタル化一貫支援サイトの運営・保守管理

国、県・市町村及び各種業界団体が行うセミナー等、デジタル化に関する支援情報を集約し、WEB 上のプラットフォームで提供を行った。

補助金支援情報	セミナー・イベント情報
92 件	312 件

イ 専門人材による相談対応

県内事業者等からのデジタルソリューションに関する相談に対応した。

相談件数：65 件

ウ デジタルソリューション情報等の情報収集・整理

省力化や生産性の向上が期待できるデジタルソリューションの情報収集を行い、定期的に長野県デジタル化一貫支援サイトに掲載し、県内事業者等のデジタルソリューション導入を促進する。

ソリューション掲載件数	導入事例件数
276 件	49 件

エ デジタル化を普及・啓発するセミナーの実施

各種業界団体等と連携し、長野県デジタル化一貫支援サイトの利活用促進、デジタルソリューション情報の周知や DX 認定の取得等を目的としたセミナーを開催した。

セミナー名	開催期日	開催場所（方式）	参加者数
3 時間で描く成長へのアクションプラン！経営課題解決ワークショップ（全 4 回）	令和 7 年 10 月 3 日 ～11 月 10 日	長野県工業技術 総合センター他	延べ 21 名
生成 AI・デジタルを使いこなす DX 実践セミナー2025（全 4 回）	令和 7 年 8 月 28 日 ～10 月 2 日	長野市若里市民文化 ホール他	延べ 69 名
DX 認定セミナー	令和 7 年 10 月 10 日	オンライン	26 名

○他機関が実施したセミナー等

研修名	開催期日	開催場所	参加者数
宿泊事業者の DX 支援事業補助金説明会（全 6 回）	令和 7 年 6 月 4 日 ～6 月 17 日	長野県諏訪合同庁舎 講堂他	延べ 235 名
長野県下商工会議所 経営指導員等研修会（全 2 回）	令和 7 年 7 月 15 日 ～7 月 29 日	ホテルブエナビスタ、 ホテル国際 21	延べ 84 名
DX 実践ワークショップ（全 3 回）	令和 7 年 6 月 6 日 ～10 月 3 日	塩尻インキュベーションプラザ 産学連携 研修室	延べ 70 名
DTF 研究会 講演会	令和 7 年 9 月 18 日	長野県工業技術総合 センター（岡谷）	30 名
現場・課題解決ワークショップ（長野県中小企業家同友会 異業種交流委員会）	令和 7 年 12 月 3 日	松本市勤労者 福祉センター	4 名

第3 経営支援事業

県内中小企業等が、経営環境の急激な変化等に柔軟に対応して継続的な経営ができるよう、経営上の様々な課題への相談対応、受発注取引、販路開拓等の支援を行うとともに、企業再生支援、事業承継・事業引継ぎ等の支援を行った。

I 相談支援

1 よろず支援拠点事業（相）

実績	一般相談件数 9,717 件 課題解決件数 422 件 セミナー・相談会開催件数 216 回 Facebook ページフォロワー数 1,283 人
----	--

よろず支援拠点では、中小企業等からの様々な経営課題に対して、27名のコーディネーターが迅速かつ丁寧にワンストップで対応した。新型コロナウイルスの収束後も、物価の高騰、人手不足、価格転換など多くの課題が存在するが、これに対処するため、売り上げ拡大、マーケティング、資金繰り、価格転嫁交渉アドバイス、人材確保に向けた相談への対応を強化した。また、相談機能を拡充するために地域センターの5ヶ所を含む県内19ヶ所にサテライトを継続設置した。

コーディネーターは講師として、価格転嫁交渉のポイント、売り上げ拡大、ネット販売など、事業者の身近な課題をテーマにしたセミナー・相談会を216回開催した。さらに、価格転嫁交渉支援に対応するため「価格転嫁サポートチーム（6名）」を組成し中小企業診断士や社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー等の専門家が連携して対応した。

この他、女性向け創業者を集めたセミナー・情報交換会も実施し、創業者への支援を積極的に行った。

II 新事業創出・経営革新等支援

1 創業支援

実績	専門家派遣件数（創業者向け） 83 回 地域課題解決型創業支援事業支援対象者 17 名
----	--

(1) 専門家派遣事業（創業者向け）（創）

創業を予定している者や創業間もない事業者の経営課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、無料で診断・助言を行った。

- ・専門家派遣企業数（創業者）10 企業 83 回
- ・専門家登録者数 225 名

(2) 地域課題解決型創業等支援事業（創）

県内経済を担う次世代産業を創出するため、地域の課題をビジネスの手法で解決するソ

ーシャル・イノベーションによる創業を目指す者に対して、創業経費を補助（補助率 1/2 以内、上限 200 万円/件）するとともに、伴走支援員 2 名による創業者の掘り起こしやフォローアップ体制の強化を図った。

84 件の応募があり、「社会性」「事業性」「必要性」「遂行能力」の観点から審査した結果、17 件を採択し、全件が年度内に創業した。

【主な事業例】

事業者名（創業者）	実施地域	事業内容
HACHI LOOP 株式会社	中川村	高齢化する養蜂技術の継承と地域の好循環創出事業
株式会社 CONVIVIAL	安曇野市	精神疾患患者と家族への訪問看護及びその看護師育成事業
信州食工房やまゆら	長野市	長野県産農産物の生産から加工・販売までの 6 次産業化事業

2 経営革新等支援

(1) 専門家派遣事業（創）

中小企業者等が抱える経営改善、人材育成、AI・IoT 活用等、様々な課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、適切な診断・助言を行った。

- ①一般向け 16 企業 110 回
- ②小規模事業者向け 31 企業 213 回
- ③DX・省力化向け 11 企業 115 回
- ・専門家登録者数 225 名

(2) 中小企業等外国出願支援事業（創）

優れた技術等を有する県内中小企業者等の経営基盤の強化、国際競争力の向上、海外市場への新たな参入及び事業展開を促進するため、中小企業の外国への特許、実用新案、意匠及び商標登録出願等に要する費用の一部を補助した。

内訳	特許	実用新案	商標
件数(合計 8 件)	6 件	1 件	1 件

(3) 農商工連携支援基金助成金フォローアップ事業（創）

平成 21 年度から令和元年度までの助成金活用事業（62 件）のうち令和元年度の（6 件）に対して事業の進捗管理を行った。

Ⅲ マーケティング支援

1 総合支援

(1) 中小企業販路開拓助成事業（マ）

実績	商談件数 982 件
----	------------

ア 県内ものづくり企業の技術や製品をPRするため、国内・海外・オンラインで開催される製造業関連の展示会に共同出展する団体又は単独で出展する中小企業・小規模事業者に対し、出展等に要する費用の一部を助成した。

○助成内容

展示会の種類	対象経費・助成率	助成限度額
国内展示会	出展料の 1/3 以内（小規模事業者向け 2/3 以内）	20 万円
海外展示会	出展料及び出展料以外の対象経費総額の 1/2 以内 （小規模事業者向け 2/3 以内）	75 万円
オンライン展示会	出展料の 1/3 以内（小規模事業者向け 2/3 以内）	20 万円

○助成実績

実績内容	一般向け助成金	小規模事業者向け助成金
交付企業数	37 企業	16 企業
交付実績額	3,642 千円	2,500 千円

イ 円安局面における県内の中小企業者の海外マーケットにおける新市場開拓や販路拡大を支援するため、海外で開催される製造業関連の展示会（オンライン展示会を含む）等に出展する中小企業者に対し、出展等に要する費用の一部を助成した。

○中小企業海外販路開拓助成金の助成内容および実績

展示会の種類	対象経費・助成率	助成限度額	交付企業数	交付実績額
海外展示会 および オンライン展示会	小間料及び小間料以外の経費（通訳代及び輸送費等）総額の 2/3 以内	100 万円	25 企業	15,928 千円

(2) 取引適正化相談事業（マ）

実績	相談会開催 2 回 取引かけこみ寺相談件数 293 件
----	--------------------------------

中小企業の経営活動で生じる取引上のトラブル等の相談窓口「取引かけこみ寺」において、専門相談員 2 名を配置し相談対応を行った。

中小企業に不当に不利益を与える行為の未然防止のため、親企業による「買いたたき」や「取引代金の減額」等に関する相談会を 2 回開催した。また顧問弁護士を委嘱し、取引上のトラブル等に関する法律問題の相談に対応した。

(3) 海外展開現地支援事業（マ）

上海市の「上海事務所」に駐在員 1 名を配置して、中国市場の情報収集・提供等を行い、県内企業の海外展開を支援した。

主な業務内容	件数等	
情報収集・提供（一般経済情報・市場情報等）	615 件	
現地見本市等への出展支援等	7 件	
販路開拓支援（商談会等）	商談会等回数	4 回
	参加企業数	6 社
	商談件数	400 件
	成立金額	113 千円

2 生産財販路開拓支援

県内中小企業の受注拡大や新規取引先開拓等を支援するため、次の事業を行った。

(1) 受発注取引支援事業

ア 受発注取引のあつ旋（マ）

実績	あつ旋紹介件数 1,418 件 新規取引成立件数 16 件
----	----------------------------------

県内で生産財（工業製品）を加工・製造している企業の受発注取引や販路開拓に関する相談に対応するため、県内 4 か所（上田、諏訪、伊那、松本）に「受発注取引推進員」4 名を配置し、企業訪問等による取引相談及びあつ旋を行うとともに、職員の企業訪問による受発注取引のあつ旋を行った。

イ 発注の開拓（マ）

実績	発注開拓相談件数 507 件 発注申出件数 277 件
----	--------------------------------

三大都市圏の発注企業と県内の生産財に係る受注企業との取引を推進するため、県外 3 か所（東京、名古屋、大阪）に「発注開拓推進員」3 名を配置し、企業訪問等による発注開拓を行い、受発注取引推進員や職員と連携して取引あつ旋紹介を行った。

受発注取引あつ旋・紹介（県内・県外分合計）

項 目		実 績
発注申出件数		277 件
受注申出件数		438 件
あつ旋紹介結果	成立件数	16 件
	不成立件数	1,101 件
	折衝中の件数	735 件
契約成立当初受注金額（千円）		43,953 千円

ウ CRM（顧客管理システム）の活用（マ）

CRM を導入し、発注開拓推進員の発注案件情報および受発注取引推進員のあつ旋紹介

情報の登録によりデータベース化され支援状況が見える化することにより、受発注取引支援の効率化を図るとともに、これまで以上に円滑な運営を行うことが出来た。

エ 調査・情報提供（マ）

県内受注企業の経営動向を把握するための「経営動向調査」や県内中小企業の取引条件等の実態を把握し、取引の適正化推進の資料とするため「取引条件調査」を実施した。また、受発注取引を促進するため毎月1回「受発注ニュース」の発行等を行った。

○調査・情報提供

項 目	実 績	摘 要
登録受注企業経営動向調査	4 回	調査対象 200 社
登録受注企業取引条件調査	1 回	調査対象 500 社
受発注ニュースの発行	12 回	インターネットによる発信等

(2) ものづくり国内販路開拓支援事業

ア セミナーの開催（マ）（人）

実績	提案営業セミナー	6 回シリーズ
	経営戦略セミナー	1 回

顧客（取引先）の様々な課題に対し、自社の技術や製品の強みを明確に伝えるための提案力、交渉力、プレゼンテーション能力を向上させるシリーズ形式の「提案営業セミナー」を開催した。

また、企業経営者向けに、経営者等を対象に、経営環境が激変する中で、成長力・収益力の強化を図るための「経営戦略セミナー」を開催した。

○ものづくりマーケティングスキル向上セミナー

内 容		開 催 日	会 場	参加者数
提案 営業 セ ミ ナ ー	提案営業・交渉力・プレゼン能力向上セミナー（5回） ・Web マーケティング視点で変える中小企業の営業戦略 ・営業の原理・原則、 ・提案・プレゼン力強化 ・ファシリテーション実践他	令和7年9月11日 10月2日 10月23日 11月6日 11月13日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	延べ 44 名
	新規開拓実践研修（1回）	令和7年10月9日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	37 名
	テレポ実践研修（面談機会の創出・商談力の強化）	アポイント獲得数 30 件（獲得率 52%） 研修1か月後調査 取引成約 1 件 商談件数 43 件		
経営 戦略 セ ミ ナ ー	経営戦略セミナー（1回） 「不確実性の時代のリーダーシップと意思決定」 東京女子大学特別客員教授、 早稲田大学名誉教授 内田和成氏	令和8年1月14日	シャトレゼホテル長野 （長野市）	66 名

イ 商談会の開催（マ）

実績	商談会開催	13 回
	商談件数	1,421 件

（ア）国内における新規受注の確保や取引先の開拓を支援するため、県内中小企業を募って県外のメーカー等を訪問し、設計・開発・購買担当者に直接自社の新技術や新工法を提案する技術提案型商談会をオンライン方式も取り入れ開催した。

○技術提案型商談会

訪問先企業	開催方式	参加企業数	商談件数	成立件数	成立金額
			(会期後 3 か月)		
(株)デンソーウェーブ、 アネスト岩田(株)、YITOA マイクロテクノロジー (株)他 7 社	個別商談形式 (オンライン)	延べ 28 社	118 件	2 件	1,000 千円
刈谷市産業振興センター (トヨタ自動車(株)、(株)デ ンソー、(株)アイシン他)	展示会形式	82 社	523 件	9 件	400 千円
Astemo(株)		20 社	44 件	0 件	0 千円

○刈谷展示会の事前説明会及び次世代自動車参入フォーラム

開催日	会 場	内 容	参加者数
令和 7 年 7 月 3 日	シャトレゼホテル 長野（長野市）	(株)アイシンの技術開発本部長から 「2030 年に向けた取り組み」につい て、アーサー・ディ・リトル・ジャ パン(株)から「自動車産業の未来と 県内企業のビジネスチャンス」につ いて講演	51 名

（イ）愛知県、岐阜県、三重県、静岡県と連携して中京圏の発注企業を開拓し、県内受注企業とのマッチングを行い、名古屋で「マッチングフェア in なごや 2025」を開催した。商談会前に専門家による商談力向上に向けたセミナーを開催し、効果的なマッチングの機会を図った。

○マッチングフェア in なごや 2025

開催日	会場	参加企業数	商談件数	成立件数	成立金額
			(会期後 3 か月)		
令和 7 年 10 月 8 日	愛知県産業労働セン ター（ウイングあいち）	長野県 60 社 5 県計 484 社 発注側 188 社	736 件	6 件	1,470 千円

ウ 展示会の開催及び出展支援（マ）

実績	商談件数 662 件
----	------------

（ア）長野ものづくり技術展

県内製造業の特長である精密加工技術をPRし、新たな市場への販路開拓拡大を図るため、関東圏の集客力の高い展示会において「長野ものづくり技術展」を開催した。

展示会名	開催日	会場	出展者数	来場者数	商談件数	成立件数	成立金額
					(会期中)		
テクニカル ショウヨコ ハマ 2026	令和8年 2月4日 ～6日	パシフィコ 横浜	63 社・団体	18,032 名	286 件	3 件	410 千円

（イ）成長が見込まれる医療機器分野への参入を促進するため、当該分野に関する素材・部品・製品や製造技術をPRできる展示会への出展を支援した。

○成長市場分野展示会

展示会名	開催日	会場	出展者数	来場者数	商談件数	成立件数	成立金額
					(会期後9か月)		
Medtec Japan 2025	令和7年 4月9日 ～11日	東京ビッグ サイト	19 社・団体	17,261 人	376 件	21 件	9,800 千円

（3）生産財海外販路開拓支援事業（マ）

実績	相談件数 264 件 商談件数 175 件
----	--------------------------

ア 県内企業の海外への販路開拓や海外企業との技術連携等を促進するため、グローバル展開コーディネーター1名およびグローバル展開推進員2名を本部に配置し、タイやインドで開催される展示会への出展支援や、タイにおける国際版技術提案商談会を実施した。またドイツ自動車部品メーカーとの販路開拓のためのオンライン商談会を実施した。

○海外展示会

展示会名	分野	開催日	開催地	出展者数	商談件数	成立件数	成立金額
Metalex 2025	工作機械 金属加工等	令和7年 11月19日 ～22日	タイ (バンコク)	4 社	116 件	0 件	0 千円
					(会期後3か月)		
Automechanika New Delhi 2026	自動車部品 等	令和8年 2月5日 ～7日	インド (ニューデリー)	3 社	44 件	0 件	0 千円
					(会期中)		

○国際版技術提案型商談会

商談会名	開催日・開催方法	参加企業数	来場者数 (面談者数)	商談件数	成立件数	成立金額
				(会期中)		
タイ商談会	令和7年 11月17日、 20日	2社	8人	10件	0件	0千円
ドイツ商談会	令和8年 2月26日 (オンライン)	1社	5人	5件	0件	0千円

イ 海外展開に関する情報提供と商談会での提案力向上を支援するためのセミナーを会場対面にて開催した。

○グローバルマーケティングセミナー

開催日	会場	テーマ(内容)	参加者数
令和7年10月16日	テクノプラザおかや 大研修室兼展示場	「インド自動車市場のビジネスチャンスを探る！」	43名

(4) ものづくり製品オンライン発信事業(マ)

今後さらに普及・定着が見込まれるオンラインによる事業活動を促し、県内ものづくり企業の販路開拓を支援するため、製品・技術の情報発信から発注企業とのマッチング支援まで一連で行うオンラインシステム(テクノリーチナガノ)を運用した。

- ・主な機能：24時間・365日商談、PR動画作成、英語対応、オンライン展示会開催等
 - ・稼働開始日：令和3年9月1日
 - ・県内受注登録企業数：343社、発注登録企業数：327社(令和8年3月31日現在)
- オンラインシステム(テクノリーチナガノ)を活用した展示商談会を開催した。

ア (株)リコー 長野県新技術・新工法展示商談会

【展示商談会】(展示会：オンライン 個別商談会：オンライン)

開催日	発注企業	受注企業数	展示会来場者数 ・商談件数	成約額
令和8年2月2日～ 13日(展示会)	(株)リコー (神奈川県)	14社	9人	0千円 (会期中)
令和8年3月9日～ 13日(商談会)		5社	7件 (会期中)	0千円 (会期中)

イ テクノリーチナガノ商談会(対面またはオンライン)

開催日	発注企業	受注企業数	商談件数	成約額
令和7年7月7日～ 18日	関東圏、中京圏、 関西圏を中心に 事業所を有する 製造業者	43社	261件 (会期後3か月)	70千円 (会期後3か月)
令和7年11月10日～ 11月21日		23社	110件 (会期中)	190千円 (会期後3か月)
令和8年2月24日～ 3月6日		19社	112件 (会期中)	0千円 (会期中)

3 消費財販路開拓支援

(1) マーケティングコーディネート事業 (マ) (人)

実績	セミナー開催 2回 商談会開催 1回
----	-----------------------

消費財分野の総括的な指導・提言を行う特別顧問を配置し、消費財マーケティングセミナーを年2回開催するなどマーケティングの重要性の浸透を図った。また、セミナーの受講者を対象とした個別商談会を開催した。

○消費財マーケティングセミナー（中村胤夫特別顧問）

開催日	会場	内 容	参加者数
第1回消費財マーケティングセミナー 令和7年4月17日	対面及びオンライン開催 長野市生涯学習センター4F 大学学習室3 (長野市)	プログラム1 ・国際戦略2025について 長野県営業本部参事 近藤孔明氏 プログラム2 ・海外輸出・海外取引におけるトラブル事例とリスクマネジメント 東京海上日動火災保険(株) 森 聖華氏他 ・中村胤夫マーケティング特別顧問によるセミナー総括・講話	79名
第2回消費財マーケティングセミナー 令和7年11月11日	オンライン開催 (一社)全国スーパーマーケット協会会議室 (東京都)	プログラム1 ・中小企業に必要な「商品力 営業力 経営力」 (株)五味商店 代表取締役 寺谷健治氏 プログラム2 ・商談会 ((株)五味商店) 申込方法の説明 長野県産業振興機構 消費財チーム プログラム3 ・中村胤夫マーケティング特別顧問によるセミナー総括・講話	49名

○第2回セミナー受講者を対象とした個別商談会

開催日	会場	内 容	参加企業数
令和8年1月8日	アークスセンター (協同組合長野アークス) 大会議室 (長野市)	参加バイヤー企業：(株)五味商店 開催方法：事前マッチング方式の対面式個別商談会 商談件数：9件	9社

(2) 消費財マーケティング力強化事業（マ）

実績	県産品 CD 相談件数	1,363 件
	県産品 CD 取引あっ旋紹介件数	26 件
	重点支援事業 展示求評会 商談件数	72 件

ア 食品製造事業者等の新商品開発や新たな市場への販路開拓・拡大を支援するため、県内（県庁、飯田、松本）に、販路開拓等に精通した「県産品コーディネーター」3名を配置し、商品化の支援、展示会や商談会の出展支援、展示会等出展後のフォローアップ、バイヤーへの紹介等を行った。

イ 販路開拓に関し課題を抱える県内食品製造事業者の中から選定した重点支援事業者（6社）を対象に、県産品コーディネーターによる伴走支援のもと、事業者ごとの課題に応じた商品開発から販路開拓まで一貫して支援を行った。専門家によるオンラインセミナー及び個別面談会にて各社が抱える商品開発及び販路開拓の課題に対する助言指導を受けた後に、首都圏バイヤーから自社の商品評価を受ける展示求評会を銀座NAGANOにて実施した。

重点支援事業者数	個別面談会開催数	展示求評会 参加バイヤー数 (銀座 NAGANO)	商談件数
6 社	1 回	12 社	72 件

(3) 消費財国内販路開拓支援事業（マ）

実績	商談件数 5,124 件
----	--------------

ア 食品製造事業者等の販路開拓を支援するため、長野県営業局と連携し「県産品商談会」（長野・茅野）及び「おいしい信州ふーど発掘商談会」（東京・オンライン）を開催した。

○県産品商談会

商談会名	開催日	会場	出展者数	バイヤー数	商談件数	成立件数	成立金額
県産品商談会 (展示商談形式)	令和7年 5月29日	シャトレーズ ホテル長野 (長野市)	110 社	288 名	1,214 件	121 件	20,300 千円
					(会期後6か月)		
県産品商談会 (展示商談形式)	令和8年 1月29日	茅野市民館 (茅野市)	83 社	191 名	556 件	1 件	50 千円
					(会期中)		

○おいしい信州ふーど発掘商談会（対面式）

商談会名	開催日	会場	出展者数	バイヤー数	商談件数	成立件数	成立金額
おいしい信州 ふーど発掘商 談会 in 東京	令和7年 8月28日	池袋サンシャ インシティ (東京都)	99 社	718 名	1,337 件	112 件	55,747 千円
					(会期後6か月)		

○おいしい信州ふード発掘商談会（対面式及びオンライン）

商談会名	開催日	会場	出展者数	バイヤー数	商談件数	成立件数	成立金額
おいしい信州ふード発掘商談会 （㈱ライフコーポレーション）	令和7年 7月9日	アークスセンター （長野市）	18社	3社	19件	2件	123千円
（会期後6か月）							

イ 食品製造事業者の全国規模での販路開拓に向け、専門展示会や大手流通事業者が主催する商談会への出展支援を行った。

○専門展示会

展示会名	開催日	会場	出展者数	来場者数	商談件数	成立件数	成立金額
スーパーマーケット・トレードショー2026	令和8年 2月18日 ～20日	幕張メッセ （千葉県）	41社	80,922人	1,912件	18件	10,250千円
（会期中）							

○大手流通業者主催商談会

商談会名	開催日	会場	出展者数	商談件数	成立件数	成立金額
三井物産流通グループフードショー2025	令和7年 7月24日 ～25日	パシフィコ横浜 （神奈川県）	5社	76件 （会期中）	4件	700千円
						（会期後6か月）
三井物産流通グループ関西メニュー提案会2026	令和8年 1月20日	大阪マーチャンダイズ・マート （大阪府）	4社	10件	0件	0円
						（会期中）

（4）消費財海外販路開拓支援事業（マ）

食品製造事業者のアジア等の有望市場への販路開拓を支援するため、長野県営業局と連携し次の事業を行った。

ア 食のグローバル展開推進員の配置

実績	相談件数
	434件

食品製造事業者の海外への販路開拓を支援するため、食のグローバル展開推進員（2名）を県内（県庁）及び県外（東京・銀座 NAGANO）に配置し、展示会等への出展支援やバイヤー等への紹介、出展後のフォローアップを行った。

イ 海外バイヤー招へい商談会の開催

実績	商談件数
	66件

食品の海外バイヤーを対象とした対面及びオンラインによる商談会を開催するとともに、国内に拠点を置く海外企業の国内駐在のバイヤーを長野県に招へいして商談会を開催した。

名 称	開催日	開催方式	バイヤー数	参加企業数	商談件数	成立件数	成立金額
第1回海外バイヤー商談会（台湾裕毛屋長野フェア事前商談会）	令和7年 6月17日	対面	1社	24社	24件 (会期中)	23件	6,400 千円
第2回海外バイヤー商談会（PPIH 米国グループ長野フェア事前商談会）	令和7年 11月27日	対面	3社	12社	12件 (会期中)	27件	15,510 千円
第3回海外バイヤー（米国 UWAJIMAYA 長野フェア事前商談会）	令和8年 1月28日	対面	6社	30社	30件 (会期中)	0件 (会期6ヶ月後に調査予定)	0円

ウ 長野フェアによる販売試行支援

実績	新規参加企業数 13社
----	-------------

海外のスーパーマーケットが開催した長野フェアにおいて商品の取り扱いを希望する県内企業を募集し販売試行を支援した。

フェアの名称	開催日	開催地	参加企業数
米国マルカイ長野フェア (マルカイハワイ及び ドン・キホーテ USA)	令和7年 6月4日～6月24日	アメリカ (ハワイ州)	31社
米国マルカイ長野フェア マルカイ ロサンゼルス	令和7年 6月12日～7月9日	アメリカ (カリフォルニア州)	19社
米国 UWAJIMAYA 長野フェア	令和7年 7月9日～22日	アメリカ (ワシントン州 及びオレゴン州)	25社
裕毛屋 長野フェア	令和7年 12月12日～14日	台湾 (台中市)	23社

エ 海外展示会への出展支援

実績	商談件数 161件
----	-----------

アジア諸国および米国の有望市場をターゲットとした海外で開催される食品の展示会へ長野県ブースを設置し、県内企業の出展を支援した。

展示会名	開催日	開催地	出展者数	来場者数	商談件数	成立件数	成立金額
FOOD TAIPEI 2025	令和7年6月 25日～28日	台湾 (台北市)	8社	47,439人	161件	8件	5,742 千円
(会期後6か月)							

Ⅳ 企業再生支援

1 企業再生支援

実績	支援完了件数 96 件
	相談件数 事前相談 107 件 、1 次相談 246 件

(1) 中小企業再生支援協議会事業（承）

ア 長野県中小企業再生支援協議会全体会議の開催

開催日	開催方式	参加者数	内容
令和 7 年 6 月 17 日	会議開催	39 名	令和 6 年度事業報告及び令和 7 年度事業計画について

イ 支援業務

- ・ 中小企業からの事業再生に関する相談を受け付け、再生計画作成支援等を行った。

事前相談件数	107 件
1 次対応件数	246 件
2 次対応開始件数	37 件
収益力改善計画策定完了	19 件
プレ再生計画策定完了	5 件
再生計画策定完了 (うち抜本完了案件)	9 件 (6 件)
再チャレンジ支援完了	41 件
405 事業等移行案件	22 件
【合計】支援完了件数	96 件

- ・ 再生計画の遂行状況を把握するためのモニタリングを行った。また、再チャレンジの意欲ある経営者に対しては、経営者保証ガイドラインを活用し、円滑な保証債務整理のための支援を行った。

モニタリング実施先数	89 先
経営者保証ガイドライン（単独型）での整理人数	0 人
経営者保証ガイドライン（一体型）での整理人数	5 人

ウ 広報・普及活動

金融機関及び関係機関等を適宜訪問し、業務遂行状況の報告及び運営上の課題等について意見交換を行ったほか、県内商工会議所が主催する相談会等に参加し、相談対応を行った。金融機関等で構成する信州中小企業支援ネットワーク会議において各種情宣を行った。

訪問・相談・会議	延べ回数
商工団体等	3 回
士業団体等	5 回
信州中小企業支援ネットワーク会議	2 回

(2) 経営改善計画策定支援事業（承）

ア 経営改善計画策定支援

財務上の問題を抱え、金融支援を含む経営改善を必要とする中小企業・小規模事業

者が、経営改善計画策定において認定支援機関に依頼して作成する計画の策定費用および計画実行状況に対するモニタリング費用について一部を負担した。

利用申請件数	支払申請件数
89 件	65 件

イ 早期経営改善計画策定支援

資金繰管理や採算管理等の基本的な経営改善の取組を必要とする中小企業・小規模事業者が、早期段階で認定支援機関に依頼して作成する計画費用について一部負担した。

利用申請件数	支払申請件数
5 件	10 件

V 事業承継・引継ぎ支援

1 事業承継・引継ぎ支援

実績	第三者承継新規相談件数	222 件
	親族内承継新規相談件数	165 件
	第三者承継支援完了件数	60 件
	親族内承継支援完了件数	54 件

(1) 事業承継・引継ぎ支援センター事業（承）

中小企業等における円滑な事業承継・引継ぎを支援するため、事業承継診断を通じて潜在的な事業承継ニーズの把握、掘り起しを実施した。そのうえで、相談者の課題や要望に応じて、課題解決に向けた伴走支援や事業承継計画の策定支援、譲渡・譲受希望者へのマッチングおよび助言等必要な支援を総合的に実施した。

ア 事業承継に関する普及・広報活動

地域の金融機関や商工団体、長野県等と連携して事業承継支援ネットワークを構築し、このネットワークを通じて、事業承継診断を実施することで、経営者が早期に事業承継の課題に気づく機会を提供した。さらに、気づきを具体的な行動につなげるため、セミナーや研修会を開催した。

事業承継ネットワーク構成機関による事業承継診断実施件数	5,583 件
事業承継セミナー・講師等実施回数	計 19 回
支援機関向け事業承継研修会	計 21 回

イ 事業承継相談と具体的支援

親族内承継や第三者承継に対する相談に対し、専門家派遣やマッチングに向けた情報提供、各種助言などの各種支援を実施した。また、経営資源を次世代へ円滑に承継・引継ぎし、有効活用を図るため、事業承継・引継ぎや有効活用を図るため、相談者との面談を通じて個別支援を行った。

また、経営者の高齢化や後継者不足のピークを迎える中、新たな自治体などにも広報活動や相談会開催の協力を働きかけるなど、支援の裾野を広げる取組を進めた。こうした働

きかけの効果もあり、新規の相談件数は、過去の実績を更新し、533 件となった。

支援完了件数についても個別支援に注力した結果、第三者承継・親族内を合わせて 114 件となり、これまでで最も多い実績となった。

後継者不在第三者承継 譲渡相談	222 件
後継者不在第三者承継 譲受相談	120 件
親族内承継相談・その他相談	191 件
新規相談 合計(上記)	533 件
第三者承継・親族内完了件数 合計	114 件

第4 地域センター事業

地域企業の相談窓口として、本部へのつなぎ連携機能を強化するとともに、地域の特徴や企業ニーズに即した課題解決に向けた諸事業を展開した。

I 長野センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

長野地域の企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開する。地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援するため、根強いニーズがある若手技術者を対象とした技術講座や研究会を継続して実施した。

(1) NICE 長野コラボネット（交）

地域企業の経営者、技術管理者、中堅技術者及び大学等関係者による交流会を開催し、企業間の技術交流や産学官交流を促進する。また、交流会活動を通じて具体的な研究開発プロジェクトを創設するなど、地域における共同技術開発を支援した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 4 月 15 日	令和 7 年度役員会 令和 6 年度事業実施状況、令和 7 年度事業計画及び役員改選	11 名
令和 7 年 6 月 27 日	総会・第 1 回研究会 令和 6 年度事業実施状況、令和 7 年度事業計画及び役員改選 記念講演： 「山梨における水素・燃料電池関連の新産業創出に向けた活動」 国立大学法人山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター 水素・燃料電池技術支援室 特任教授センター長兼室長 飯山 明裕 氏 ※グリーンイノベーション推進部と共催	89 名
令和 7 年 9 月 26 日	第 2 回研究会 講演：「『空の移動革命・信州モデル』の実現に向けた産学官 プラットフォームの構築」 国立大学法人信州大学 工学部 特任教授 佐藤 敏郎 氏 会員発表：「切削加工を楽しむ」 有限会社ナツバタ製作所 代表取締役 小林 豊 氏 ※信州産学みらい共創会次世代空モビリティシステムコンソーシアムと共催	32 名

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 11 月 6 日	第 3 回研究会 先進企業視察・ミニ講演会 視察先 シナノケンシ株式会社 ミニ講演会：「製造現場向け自動搬送ロボット『AspinaAMR』」 RS-BU 営業部 営業第一課 係長 滝澤 俊 氏 「ASPINA の宇宙事業の取組」 開発技術本部 宇宙事業部 エキスパート 市来 浩一 氏	21 名
令和 8 年 1 月 23 日	第 4 回研究会 講演・会員発表 講演：「SBH プロジェクトの紹介」 日本軽金属株式会社 新規事業企画戦略部 大久保 学 氏 会員発表：「当社と地域の関わり」 株式会社竹村製作所イノベーション推進部 橋本 信雄 氏 話題提供：「信州すいすいネットのご紹介」 長野県産業労働部 産業政策課 担当係長 鈴木 遼 氏 ※グリーンイノベーション推進部、信州産業水素推進ネットワ ークと共催	108 名

(2) 応用機械設計研修プログラム（人）

研究開発やその成果の早期事業化には、製造現場における技術者の高い設計品質能力が求められることから、長野高専と連携して講義と実習により実践的な設計技術の研修を開設し、技術者のスキルアップに資するとともに、将来に向けた研究開発人材の基盤づくりを行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 6 月 11 日 ～令和 8 年 3 月 10 日	応用機械設計研修プログラム 幾何公差ワークショップ (計 7 回)	延べ 128 名

(3) IoT 入門基礎研修プログラム（人）

地域企業の第一線で活躍する回路設計者のスキル向上を狙いとして、IoT を取り入れた生産活動への入門のための技術研修として、IoT に活用するセンサ計測技術及びアンテナの知識、Raspberry Pi の実用実践を基礎から学ぶ講座を開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 8 年 1 月 27 日 ～令和 8 年 2 月 24 日	IoT 入門基礎研修プログラム (計 4 回)	延べ 49 名

(4) 新技術探索研究会（創）

地域に密着し、ニッチな市場を想定した製品に向けた技術開発研究会を発足するために勉強会を開催し、具体的な製品や新しい技術開発の提案につなげた。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 6月20日	第1回研究会 講演 「食品の消化特性評価から食品を“つくる”と“食べる”を考える！」 国立大学法人筑波大学 生命環境系 教授 市川 創作 氏 「糖アルコールへのいざない」 Bフーズサイエンス株式会社 研究開発センター 曾我部 知史 氏	48名
令和7年 11月19日	第2回研究会 講演 「グリーン水素製造装置における廃熱の有効利用について」 オリオン機械株式会社 水素事業開発グループ長 中根 孝浩 氏 「融解・凝固を伴う移動境界流れの数値計算方法の開発と氷スラリー流解析への応用」 国立大学法人 信州大学工学部 准教授 鈴木 康祐 氏	56名

(4) 経営戦略フレームワーク基礎セミナー（創）

地域企業の次世代の経営者を対象に、事業戦略を立案するための手順や基礎的なフレームワークを学ぶためのセミナーを開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 7月15日	第1回研究会 講演・演習 「フレームワークとは（種類・概要、事例、演習）」 ナカミ創造研究所 代表 中田 麻奈美 氏	17名
令和7年 12月1日	第2回研究会 講演・演習 「補助金申請に使える事業計画書策定講座」 ナカミ創造研究所 代表 中田 麻奈美 氏 「ものづくり補助金申請書作成演習」 Mino's Business Consulting 代表 安永 麻実子 氏 「Go-tech 事業の解説」 公益財団法人長野県産業振興機構 グリーンイノベーション推進部 テクノコーディネータ 湯本 由美	16名

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

県・市町村等が取り組む産業政策に基づく事業を推進するため、行政、支援機関等と連携し、事業を展開した。

(1) 子供ものづくり科学教室（人）

子供の科学する心を醸成し、ものづくりへの興味を深めるため、行政、支援機関等と連携して「子供ものづくり科学教室」を開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年11月7日	子供科学教室（更級小学校）	25名
令和7年11月15日	子供科学教室（キッズサイエンス）	1,052名

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、経営者、中堅技術者及び大学等関係者の人的交流の場を提供した。

(1) 善光寺バレーミニ学会（交）

大学及び高専等と地域企業による共同研究の成果を発表する「善光寺バレーミニ学会」を長野高専と共同で開催し、関係者の交流を促進するとともに、研究開発・産学官連携に対する地域企業の意識を高めた。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 11月26日	研究成果報告会 「善光寺バレー発 産学連携・学生のチカラ」 基調講演：「結晶成長を通じての産学連携」 国立大学法人信州大学 工学部 電子情報システム工学科 教授 太子 敏則 氏 成果発表：「長野高専専攻科生による研究発表」 9テーマ	43名

(2) コーディネーター等連携推進事業（交）

産業活性化に向けた地域の支援機関の連携を推進するため、地域の産業支援機関のコーディネーター等の連絡情報共有会議を開催した。

訪問先：長野高専技術振興会、さかきテクノセンター、中野市商工観光課、長野市 ICT 産業協議会、長野工業振興会、北信地域振興局商工観光課、須坂市産業連携開発課、信州産学みらい共創会、長野市ものづくり支援センター、長野県信用組合、長野信用金庫、長野県信用農業協同組合、長野県信用保証協会、八十二長野銀行、千曲市産業支援センター 15 機関

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動等を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 206 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 30 件 デジタルに関する相談件数 47 件
------	---

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 206 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 118 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 127 件 ・共同研究、実用化等支援 1 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 0 件 ・サポイン事業フォローアップ 2 件 3 研究会・研修会・その他活動状況 ・研究会 新規：0 件、継続：3 件、終了：0 件 ・主催した研修会、セミナー等 開催回数：24 回、延べ参加者数：1,758 名

(3)NICE イノベーションセミナー（創）（上田センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者数
令和7年8月18日	第1回 NICE イノベーションセミナー 支援機関アクティビティ紹介 「構造最適設計を活用した取り組み事例の紹介」 長野県工業技術総合センター 材料技術部門 設計支援部長 石坂 和明 氏 「信州AM研究会の紹介（視野を広げるAM－展示会と現場からのインスピレーション）」 信州AM研究会 会長 市川 大造 氏 「さかき金属3Dプリンタ研究会の共同研究事例紹介」 公益財団法人さかきテクノセンター センター長 工藤 誠一 氏 講演：「大型金属3Dプリンタ（BLT社）及び活用事例紹介」 オリックス・レンテック株式会社 受託事業部 3Dプリンター事業推進チーム 安田 和磨氏 ※長野県工業技術総合センター、信州AM研究会、公益財団法人さかきテクノセンターと共催	63 名

II 上田センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

東信地域の企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開した。承継事業の拡大や、新たなビジネスへの挑戦に取り組む若手経営者の課題を解決するために、若手経営者支援事業を強化した。また AI を利用する手掛かりを探している企業が多いため、AI を実際に活用できるようになるための支援を強化した。

(1) ビジネスチャレンジフォーラム（交）

若手経営者が集まり、それぞれが抱える経営課題の解決を目指して交流する場として「ビジネスチャレンジフォーラム」を開催した。

開催期日	内 容	参加者数
4回共通	アドバイザー Design Lab.+Ca 代表 日本大学工学部建築学科 非常勤講師 鍋田 知宏 氏	
令和7年 7月3日	第1回フォーラム 講演・ワークショップ テーマ 「デザインと地域貢献、地域企業との取り組み」 Design Lab.+Ca 代表 日本大学工学部建築学科 非常勤講師 鍋田 知宏 氏	20 名
令和7年 9月22日	第2回フォーラム 講演・ワークショップ テーマ 「変革にチャレンジした事例から学び、自社の“ありたい姿”を考える」 長野県産業振興機構 IT バレー推進部 高島 卓也 氏	15 名
令和7年 12月16日	第3回フォーラム 講演・ワークショップ テーマ 「“これから”のための自社リブランディング ー カッコいい雇用と地域へつなぐローカルゼブラ戦略 ー」 株式会社 Newtral. 代表 松本 寿治 氏	15 名
令和8年 1月21日	第4回フォーラム 講演・見学会 講演 「10年後、あなたの会社は生き残れるか？」 株式会社ケーエムケー 代表取締役社長 川島 隆教 氏	12 名

(2) AI 活用研究会（創）

地域企業における AI 活用を促進するための人的交流の場を提供し、新たなシステム開発の芽を育成した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 7月25日	第1回研究会 グループ討議（画像処理グループ、データ処理グループ） アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏	19 名
令和7年 9月19日	第2回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「化学・材料分野での AI・機械学習の最新動向」 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏	16 名
令和7年 10月21日	第3回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「動物認識システムにおける画像判定根拠の可視化」 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏 アドバイザー 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏	17 名

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 12月15日	第4回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 ① 「長野県工業技術総合センターのAI・IoT支援およびDX推進事業のご紹介」 長野県工業技術総合センター 坂本 潤嗣 氏 ② 「ものづくり現場でのAI活用内製人材育成の取組みについて」 宮城県産業技術総合センター 上席主任研究員 太田 晋一 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏	15名
令和8年 2月19日	第5回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「次世代のAI-精度から効率へ-」 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏	14名

(3) 若手技術者養成講座（人）

機械加工法や制御IoTに関する知識習得を図る講座を開催した。

ア 機械加工法コース

開催期日	内 容	参加者数
令和7年6月18日～ 令和7年7月16日（5回）	講師 国立長野高専テクノセンター 副センター長 市川 敬夫 氏	48名

イ IoT初級コース

開催期日	内 容	参加者数
令和7年11月12日～ 令和6年12月10日（5回）	講師 湯浅システム 湯浅 正樹 氏	90名

(4) 幹部技術者交流フォーラム2.0（交）

産学官共同研究開発に資する大学等の技術シーズを提供し、地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、人的交流の場を提供した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 7月15日	第1回フォーラム 講演 「食べる・話す・運動する楽しみを作り出す研究」 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 大森 信行 氏	13名
令和7年 10月16日	第2回フォーラム 講演 「集積パワーマネジメントシステムの研究事例と今後の高電力密度電源の紹介」 信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授 宮地 幸祐 氏	11名

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 12 月 8 日	第 3 回フォーラム 講演 「自然界に学ぶ機能表面設計とレーザー加工による応用戦略」 信州大学繊維学部 機械・ロボット学科 教授 山口 昌樹 氏	13 名
令和 8 年 2 月 13 日	第 4 回フォーラム 講演 「情報システムの最新技術動向と長野大学共創情報科学部の ねらい」 長野大学 共創情報科学部 教授 飯田 一朗 氏	8 名

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

長野県ゼロカーボン戦略の普及啓発するために、東信地域企業の先進的な取組を支援する。
また、若い世代の技術的な興味を育むとともに、地域企業との協力を通じて開催されている
ロボコン大会や、地域で実施される産業活性化への取組を支援した。

(1) NICE 上田・ゼロカーボン研究会（交）

地域企業の温室効果ガス排出削減方法についての情報交換、人的交流の場を提供した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 6 月 27 日	第 1 回研究会 (AREC 脱炭素経営研究会 第 1 回例会) ・講演「サステナビリティ・キャピタリズム」 日置電機 (株) 水出 博司 氏 ・講演「松本平における産学官連携の取り組み」 法政大学茅野 恒秀 氏 ・講演「中小企業の脱炭素経営・最初の一步」 (株)はたらクリエイト 井上 拓磨 氏	48 名
令和 7 年 8 月 7 日	第 2 回研究会 (AREC 脱炭素経営研究会 第 2 回例会) ・講演「地中熱が果たせる役割」 (株)角藤 砂原 浩明 氏 ・講演「ペロブスカイト太陽電池の開発」 (株)エネコートテクノロジーズ 廣島 安 氏	44 名
令和 7 年 11 月 27 日	第 3 回研究会 (AREC 脱炭素経営研究会 第 3 回例会) ・講演「燃料電池研究の最前線」 信州大学 福長 博 氏 ・講演「グリーン水素供給システムの開発」 オリオン機械(株) 小池 和史 氏 ・講演「気候変動リスクに適応するレジリエンス」 (株)ウェザーニューズ 鈴木 孝宗 氏	37 名
令和 8 年 3 月 10 日	第 4 回研究会 (AREC 脱炭素経営研究会 第 4 回例会) ・事例報告「実践事例の共有」 (株)はたらクリエイト 井上 拓磨 氏 ・講演「脱炭素の潮流」 信州大学 高橋 伸英 氏 ・総括「グループ討議および総括」 座長 日置電機 (株) 水出 博司 氏	48 名

(2) 子供科学技術教室（人）

子供たちの科学離れが進む中で、将来の科学人材の育成に資するため、上田ロボコン、望月・軽井沢ロボコン等の活動を支援した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年10月18日～19日、11月2日	望月ロボコン	72名
令和7年11月1日	上田ロボコン	78名
令和8年2月21日、3月7日	軽井沢ロボコン	98名

(3) 地域産業活性化支援事業（広）

産業活性化に向けて、地域で実施される共同研究開発活動やものづくり催事等に対し、効果的な事業推進が実施できるよう支援を行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年10月1日～10月3日	SAKU メッセ協賛	全体 5,000 名
令和7年10月4日～10月5日	ぞっこん！さく市協賛	全体 40,000 名
令和7年10月31日～11月1日	産業未来フェス in UEDA 協賛	全体 10,000 名

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

企業支援のための情報を共有、また地域の支援機関の連携による限られた資源の有効利用により、総合的な支援体制を構築した。

(1) 支援機関連携強化事業（交）

支援機関を訪問し直接情報共有することにより、支援のネットワークを広げ、効果的な事業推進を支援した。

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動等を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応する。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 133 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 21 件 デジタルに関する相談件数 0 件
------	--

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

時期	内 容
通年	活動実績
	1 企業訪問等コーディネート活動件数
	・相談件数 133 件
	・セミナー、研究会、展示会等参加 168 件
	2 産学・産々連携状況
	・シーズ、ニーズ紹介 15 件
	・共同研究、実用化等支援 0 件
	・事業化、製品化状況 0 件
	・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 1 件（うち採択 1 件）
	3 研究会・研修会・その他活動状況
	・研究会
	新規：2 件、継続：7 件、終了：0 件
	・主催した研修会、セミナー等
	開催回数：34 回、延べ参加者数：690 名

(3) マーケティング活動事業（マ）

受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展やマッチング等のサポートを行った。

開催期日	内 容	参加者
通年	企業訪問 （うち新規）	210 社 70 社

(4) 共同研究等推進事業（共）

提案公募型研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

開催期日	内 容	参加者
通年	サポインフォローアップ数	2 件

(5) NICE イノベーションセミナー（創）（長野センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 8 月 18 日	第 1 回 NICE イノベーションセミナー （長野センター主催）に参加 「新たな金属積層造形技術研究会」オリックスレンテック(株)大型金属 3D プリンターおよび活用事例紹介 会場：シャトレゼホテル長野	64 名

Ⅲ 松本センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

(1) 産学連携による新製品・新商品開発支援事業（創）

長野大学企業情報学部 森 俊也 教授の企業イノベーションプロジェクトの活動に、新製品開発や新規事業展開に意欲的に取り組む(有)本郷鶏肉（松本市）を紹介し、企業の取組を理解した森ゼミの学生から、新しいコンセプトや新しい商品の提案が出された。

開催期日	内 容
令和 7 年 4 月 28 日	キックオフ
6 月 9 日	中間報告会
10 月 6 日	企業ミーティング
令和 8 年 1 月 30 日	最終報告会
令和 7 年 7 月 2 日	森教授との次年度企業（案）打合せ
9 月 3 日	次年度対象企業との打合せ
令和 8 年 2 月 21 日	長野大学との次年度打合せ

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

(1) デザイン思考パワーアップ講座事業（人）

ユーザー視点に立ったデザイン思考の課題解決やアイデアの探索を行うデザイン思考の考え方をセミナーで学び、ワークショップを通じて最終的な製品に反映させる手法を習得した。

開催期日	内 容	参加者
令和 7 年	講師 (株) U-NEXUS 代表取締役 上野 敏良 氏	
6 月 26 日	無償セミナー（1 日）	25 名
8 月 20 日	有償ワークショップ（2 日）	延べ 20 名
9 月 3 日		

(2) 中信自動化推進支援事業（産）

地域内中小企業の自動化を推進するとともに、Sier 企業の支援を行うため地域において先進的に自動化が進んでいる企業の視察や自動化に関する講座を開催した。

（松本ものづくり産業支援センター、塩尻市振興公社及び安曇市商工会と連携し実施）

開催期日	内 容	参加者
令和 7 年		
4 月 14 日～	中信地域自動化推進ネットワーク会議 11 回開催	18 社
7 月 7～8 日	自動化技術者育成事業	延べ 16 名
7 月 14～16 日	・リレーシーケンスの基礎	延べ 24 名
7 月 24 日	・シーケンサ（PLC）の基礎	35 名
11 月 18 日	ロボット導入セミナー	17 名
令和 8 年	(株)不二越、(株)スギノマシン 【富山市】視察会	
2 月 19 日	工程改善セミナー	33 名

(3) 故障・不具合の未然防止技術の実務教育講座事業（人）

企業における設計・開発力向上を目指すため、故障・不具合の未然防止技術について、知識の習得や体験型の講座を開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年	講師 ラーチマネージメントリサーチ代表 村岡 正一 氏	
10 月 1 日、8 日	工程 FMEA 講座（2 日コース）	延べ 43 名

(4) 地域企業人材挑戦力育成事業（人）

地元大手企業の社内研修内容を、地域の工業会等と連携して地域企業へ展開する研修会を実施し、実践的な人材育成と企業間の知見共有の促進を図った。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 8 月 5 日	「加工材料入門研修会」(半日コース) 座学 加工材料の基礎を学ぶ 講師 セイコーエプソン(株)ものづくり塾技術技能 研修グループ 味澤 敏行 シニアスタッフ	6 名
令和 7 年 9 月 16 日	「品質管理基礎研修会」(半日コース) 座学 QC 的なモノの見方・考え方、データの取り方・ まとめ方、QC 7 つ道具 演習 机上にて「ある作成物」を計測→評価→改善→ 再計測&評価 講師 セイコーエプソン(株) CS 品質企画推進部 高田 圭 シニアスタッフ、相馬 敬太 スタッフ	17 名

(5) ものづくりワークショップ事業 (人)

小学生等を対象に、ものづくりと科学技術に対する関心を高めるため、松本地域振興局商工観光課と連携し、地域のものづくりワークショップを開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 7 月 25 日	「夏休みおもしろ技術と子どものふれあい教室」	42 組 93 名

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業

(1) 大学・高専・企業との産学官連携交流事業 (創)

大学・高専・企業との産学官連携交流事業を、本部と連携し共同実施し、技術シーズと企業ニーズのマッチングや課題共有を通じて、共同研究や新事業創出の促進を図った。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 11 月 20 日	『産学官連携交流会 in 松本 2025』 開催場所：M ウイング (松本市) 参加方法：会場 73 名 オンライン 42 名 講 演 者：7 名、パネル展示と名刺交換会を実施 【特別講演】 ○ 同志社大学 社会学部教授 藤本 昌代 氏 「少子高齢化の産業界への影響と AI 活用」 【基調講演】 ○ NTT 東日本(株) CX ビジネス部 津田谷 光治 氏 「産業界での AI 活用の現在地と今後の見通し」 【企業講演】 ○ 長野テクトロン(株) 代表取締役 柳澤 由英 氏 「AI を活用した納期・工数見積の迅速化・適正化の取組」 ○ (株)ジェスクホリウチ 営業部 佐藤 俊一 氏 「AI を活用したナレッジマネジメント」 【シーズ講演】 ○ 信州大学 工学部准教授 田 陽 氏 「社会進展を牽引する AI とロボティクス」 ○ 諏訪東京理科大学 工学部教授 広瀬 啓雄 氏 「AI 活用による課題解決の研究：熟練工の継承他」 ○ 長野工業高等専門学校 情報エレクトロニクス系教授 芦田 和毅 氏 「AI 活用による課題解決の研究：保安・製品検査他」	115 名

(2) アルプス広域コーディネーター連携事業（交）

松本地域の地方自治体・商工団体及びその関連機関、県内大学・高専・公設試の関係者及びコーディネーターが一堂に会するアルプス広域コーディネーター連携事業を運営し、各機関の支援制度の紹介や課題の共有を通じて、連携強化と支援機能の向上を図った。

開催期日	内 容	参加者数
通年（12回）	アルプス広域コーディネーター連絡会議	延べ 266 名

(3) アルプス企業人・私の回顧録事業（交）

中信地域において、企業を育て地域経済をけん引してきた3社の経営者（アルプス企業人）から、これまでの経験で得た「生きた知恵と教訓」を語っていただく講演会を開催し、聴講者のビジネスマインド、挑戦マインド、創業マインドの醸成を図った。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 8月27日	第1回（座談会形式） 講師（株）一之瀬製作所 代表取締役 一之瀬 龍太 氏	15 名
12月3日	第2回（座談会形式） 講師（株）ヤマサ 取締役会長 大久保 典昭 氏	15 名
令和8年 2月18日	第3回（講演会形式） 講師 東洋計器(株) 代表取締役会長 土田 泰秀 氏	46 名

4 共通基盤事業（相、創、マ、共）

(1) 相談支援事業（相）

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を行った。

相談実績	相談支援件数 108 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 27 件 デジタルに関する相談件数 27 件
------	---

(2) コーディネート活動事業

開催期日	内 容
通 年	活動実績及び成果 1 企業訪問等コーディネート活動件数 108 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 47 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 7 件 ・共同研究、実用化等支援 0 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度と提案支援状況 提案 1 件（うち採択 0 件） 3 研究会・研修会・その他活動状況 ・研究会 新規：1 件、継続：5 件、終了：1 件 ・主催した研修会、セミナー等 開催回数 43 回、延べ参加者数 1,064 名

(3) イノベーション創出事業（創）

開催期日	内 容
令和 7 年 4 月 1 日～ 4 月 23 日 5 月 13 日～ 7 月 10 日～ 9 月 17 日～	(株)ヤマサ（令和 6 年度認定）【松本市】 事業打合せ 2 回 (株)エフパッケージ【松本市】 相談打合せ モカウッドジャパン（令和 6 年度認定）【安曇野市】 事業打合せ 4 回 山とりんご（令和 7 年度認定）【松川村】 事業打合せ 5 回 (株)ハタケホットケ（令和 7 年度認定）【塩尻市】 事業打合せ 2 回

(4) NICE イノベーションセミナー（創）（企画連携部と共同実施）

開催期日	内 容
令和 7 年 9 月 19 日	第 2 回 NICE イノベーションセミナー 「次世代バイオ燃料による 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて」 開催場所：core 塩尻 参加者数：43 名（会場 21 名、オンライン 22 名）

IV 諏訪センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

地域企業の経営基盤を強化するため、特に技術系人材の高度専門化と技術優位性の強化を図った。専門性が高いレベルで産学官交流、産々連携が促進される研究開発事業を行った。

(1) DTF 研究開発事業（創）

DTF (Desk Top Factory)に関する最新情報を収集し、幅広いネットワークの構築を目指して講演会、視察等を行った。また、スマートファクトリー分科会と医療分科会により具体的な研究開発を進めた。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 5 月 15 日	第 152 回研究会・定期総会・講演 「力覚フィードバックを搭載した手術ロボット Saroa の開発と展望」 リバーフィールド株式会社 取締役 CTO 菅野 貴浩 氏	27 名
令和 7 年 6 月 25 日	DTF 国際ワークショップ 2025 in 諏訪 (2(1)に掲載) メキシコ、ブラジル、インドの最新情報	(44 名)
令和 7 年 7 月 24 日	第 153 回研究会 見学 「複雑な形状の『異形工具』を用いた 5 軸制御加工を自在に行える CAM ソフトウェアの開発」 長野県南信工科短期大学 機械システム学科 講師 岡本 謙 氏	21 名
令和 7 年 9 月 18 日	第 154 回研究会 「生成 AI の現状と課題 ～最新動向から見る AI 活用～」 武居ワークス 代表/株式会社ユリーカ 経営企画室 室長 武居 功祐 氏 「経営を「変える」のは IT じゃない、現場と仕組みだった ～製造業の DX の取り組み事例から考える～」 株式会社ワクフリ 代表取締役 信州 IT バレー推進協議会 推進マネージャー 高島 卓也 氏	23 名

開催期日	内 容	参加者数
令和8年 1月15日	第155回研究会 ・産業デザイン財団賞授与式 受賞企業と開発テーマ 株式会社ダイヤ精機製作所 小林 通人 氏 「狭く深い患部でも安定した縫合を可能にする革新的な EASY KNOT K.O. GRIP 持針器の開発」 ・講演会 「見ながら操る技術とその応用」 東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 准教授 土屋 健介 氏	29名
令和8年 3月12日	第156回研究会 「R8年度福島復興事業について ～イノベーション・コースト構想関連～」 (公社)福島相双復興推進機構 産業創出グループ長 村山 明日香 氏 「国土強靱化に関する最近の動向について」 内閣官房 国土強靱化推進室 参事官 村山 直康 氏	25名
通年	幹事会 12回開催 スマートファクトリー分科会 データ検討 医療分科会 9回開催	延べ99名 延べ59名

(2) 材料研究開発事業（材料研究会）（創）

材料技術の開発動向や機能利用展開に関する講演会を開催した。また微細粒鋼やアモルファス合金にターゲットを絞り実用化研究を行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 10月8日	第1回研究会 「産業を支える硬質材料：超硬合金・セラミックスの 製造方法、特性、活用例について」 日本タングステン株式会社 技術開発本部要素技術開発部材料開発グループ 真島 克弥 氏	22名
令和7年 12月4日	第2回研究会 「アルミニウム材のリサイクル研究と CoCrMo 材の押出し金型への応用」 富山大学 学術研究部工学系 機能材料加工学講座 教授 白鳥 智美 氏	16名
令和8年 3月2日	第3回研究会 「『工業用洗浄』湿式洗浄の基礎と実務におけるポイント」 エステックC合同会社 代表 鈴木 克己 氏	18名
通年	超微細粒鋼とアモルファス合金について実用化研究	

(3) 幾何公差実践研究会（人）

高付加価値で国際競争力のあるものづくりに寄与できるリーダーの育成を目指し、国際的に通用する設計や図面の理解・習得を図る講座を実施した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 6月13日 ～9月16日 (全12回)	第1回 初心者向け講座① 第2回 初心者向け講座② 第3回 幾何公差方式に関する基本事項1 第4回 幾何公差方式に関する基本事項2 第5回 形状公差1 第6回 姿勢公差 グループ演習1 第7回 位置公差・振れ公差 第8回 幾何公差の有効な活用方法 グループ演習2 第9回 3次元測定トレーニング・図面実習1 第10回 実図面による図面実習2 第11回 3次元測定トレーニング・実図面による図面実習3 第12回 実図面による図面実習4	延べ 185名

(4) 新商品開発・製品サービス研究会（人）

顧客が感動する商品やサービスを効果的に企画・開発推進できる人材の育成を目指してセミナーと個別の事例研究を行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年 6月6日	新事業・新商品開発の進め方セミナー（導入編） ー市場のニーズと革新技术で進化する新商品開発戦略ー 基調講演 ラーチマネージメントリサーチ 村岡 正一 氏 事例発表 コトヒラ工業株式会社 開発部長 竹内 伸顕 氏	85名
令和7年 8月28日	新事業・新商品開発の進め方セミナー（実践編） ーヒット商品を生み出すための実践的開発プロセスー 講師：ラーチマネージメントリサーチ 村岡 正一 氏 第1回：ニーズを踏まえた新商品開発の進め方 ・新商品開発のポイント ・マーケティング	18名
令和7年 9月3日	第2回：開発企画の進め方 ・サービス工学 ・品質機能展開 ・新事業創出に向けて	18名
令和7年 9月17日	第3回：新商品開発ワークショップ（市場要求品質の整理） ・ワークショップⅠ：言語データの整理と展開	18名
令和7年 9月24日	第4回：技術開発への展開 ・技術アイデアの策定 ・故障予防（FMEA、FTA）	18名
令和7年 12月 ～ 令和8年 3月	個別事例研究 ・実施企業 日置電機株式会社 ・実施日 12月24日、1月21日、2月12日、3月10日 ・実施内容 新規商品企画における顧客の声のまとめ(VOC)から品質機能展開(QFD)までの実践	68名

2 県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業

安心・安全に暮らせて活力のある地域社会を形成するために、自然環境から産業構成、文化的特性などを相互連携させた特色ある活性化構想を県・市町村が策定しており、これに呼応する事業を展開した。

(1) 諏訪圏工業メッセ 2025 事業（交）

海外ネットワークの構築と最新技術の動向を把握するため、諏訪圏工業メッセの会期に合わせて DTF 国際ワークショップを開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 6 月 25 日	DTF 国際ワークショップ 2025 in 諏訪を開催 ー日本の製造業に注目するインド視察団との交流ー ・基調講演 「なぜインドの成長に日本の中小企業の力が 必要とされているか」 IJBC(Indo Japan Business Council) 会長 デシュムク・シッダールタ 氏 ・インド視察団の紹介 BCIC (Bangalore Chamber of Industry & Commerce) BCIC 東京事務所代表 Dr. K G スレッシュ 氏 AAAWI (AOTS Alumni Association of Western India) 会長 プラビン・ブラーヴ 氏 Sri City Private Limited 副社長 R シバシャンカール 氏 ・ディスカッション ファシリテータ IJBC 顧問 磯貝 富夫 氏 ファシリテータ JETRO 長野貿易情報センター 諏訪支所長 荒井 慎哉 氏	44 名
令和 7 年 6 月 27 日	インド視察団 企業訪問 ・高島産業株式会社 本社・工場（茅野市） ・株式会社平出精密 本社・工場 2 か所（岡谷市）	10 名
令和 7 年 6 月 26 日 ～28 日	諏訪圏工業メッセ開催 340 社・団体出展	

(2) 環境・エネルギー技術研究開発事業（創）

諏訪地域の環境特性を活かした再生可能エネルギーを探索し、安全・安心なまちづくりにつながる技術開発を目指して事業を実施した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 8 年 2 月 18 日	環境エネルギー研究会 講演会 「国内外のフュージョンエネルギーの開発状況」 量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学研究所 所長 花田 磨砂也 氏	46 名

(3) 子ども電子工作・プログラミング教室（人）

子供工作教室運営委員会メンバーの協力を得て、2 回に分けて、諏訪 6 市町村の小学 5・6 年生の親子ペア 10 組を対象に実施。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 7 月 27 日	第 1 回工作教室（富士見会場）	13 名
令和 7 年 8 月 3 日	第 2 回工作教室（岡谷会場）	19 名
令和 7 年 9 月 6 日	第 3 回工作教室 プログラミング（岡谷市）	10 名

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業

産学官連携、企業間連携の基盤となる人と人とのつながりを形成するため、企業の技術者

及び支援機関の交流を促進した。

(1) 品質工学研究会（人）

ロスの少ない工程設計、技術開発、設計のできる人材の育成を目指し、地域企業における品質工学の考え方、各手法の普及・促進を行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 7 月 11 日	品質工学導入講習会 ・パラメータ設計の基本的な考え方 ・MT システムの基本的な考え方 ・オンライン品質工学の考え方 講師 (有)増田技術事務所 代表取締役 増田 雪也 氏 東京エレクトロ TS(株) 部長 中山 博之 氏 長野県品質工学研究会 顧問 岩下 幸廣 氏	35 名
令和 7 年 10 月 7 日 10 月 8 日	技術開発のためのパラメータ設計基礎セミナー ・品質工学の考え方 ・パラメータ設計の基礎、計算方法 ・要因効果図の作成 ・動特性と静特性 ・よく飛ぶ紙飛行機のパラメータ設計（実習） 講師 KOA(株) 守谷 敏 氏	38 名
令和 7 年 12 月 3 日 12 月 10 日	ものづくりにおけるデータ分析基礎セミナー ・ものづくりでのデータの扱い ・データ分析の基礎 ・回帰分析の考え方 ・T 法の考え方 ・判別法の考え方（MT 法の活用） 講師 長野県品質工学研究会 顧問 岩下 幸廣 氏	48 名
令和 8 年 2 月 13 日	品質工学実践交流大会 事例発表 3 件 (有)増田技術事務所 増田 雪也 氏 長野県工業技術総合センター 古畑 美咲 氏 南信空撮 中西 徹 氏 特別講演「カキ養殖に係る研究開発への品質工学の適用」 広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター 水産研究部 高辻 英之 氏	28 名
通年	定例研究会 12 回開催	140 名

(2) 諏訪圏アドバイザー・コーディネーター連携事業（交）

地域の産業支援機関に所属するコーディネーター・アドバイザー等の情報共有を図るため、連絡会議を開催した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 5 月 30 日	第 1 回連絡会議 ・諏訪圏工業メッセ 2025 開催概要と準備状況について ・情報交換	25 名
令和 8 年 1 月 26 日	第 2 回連絡会議 ・経済産業省支援施策等について ・長野県支援施策等について ・R7 年度の事業総括と R8 年度の主要事業について(NICE) ・情報交換	29 名

4 共通基盤事業（コーディネート活動等）

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。またデジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 135 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 7 件 デジタルに関する相談件数 14 件
------	--

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 135 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 155 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 27 件 ・共同研究、実用化等支援 28 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 0 件（うち採択 0 件） 3 研究会・研修会・その他活動状況 ・研究会 新規：0 件、継続：6 件、終了：0 件 ・主催した研修会、セミナー等 開催回数 57 回、延べ参加者数 1,086 名

(3) マーケティング活動事業（マ）

受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展やマッチング等のサポートを行った。

(4) 共同研究等推進事業（共）

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

(5) NICE イノベーションセミナー（創）（伊那センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 11 月 10 日	第 3 回 NICE イノベーションセミナー 「次世代スマートファクトリー実現のための デジタルツイン」 講演 1 「みんなで創る次世代の工場」 東京科学大学 総合研究院 教授 藤沢 克樹 氏 講演 2 「ロート製薬が目指すモノづくりの未来と Well-Being 社会」 ロート製薬株式会社 DX/AI 推進室 固城 浩幸 氏	94 名

V 伊那センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

地域企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開した。特に企業が地域と連携して脱炭素・循環型社会の形成に向けて取り組むことへの支援や、新製品・新技術の開発、効率化と人材育成など、中小企業の競争力向上と経営基盤強化を支援した。

(1) リサイクルシステム研究会（人）

エネルギーの有効利用と地産地消、リサイクルや脱プラなどの取り組みを通して、産業界から地域における脱炭素・循環型社会の構築を目指す活動を支援した。令和5年度に産官が連携して立ち上げた上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム（KZCP）への企画・運営に協力し地域の脱炭素に向けた幅広い取り組みを行った。

開催期日	内 容	参加者名
令和7年4月18日	定例会（第1回）	21名
令和7年5月24日	第29回天竜川水系環境ピクニック	1,866名
令和7年7月7日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第5回定例会 テーマ「脱炭素セミナー&KOA(株)見学会」	27名
令和7年7月9日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第6回定例会 テーマ「長野県ZC戦略の中間見直しに向けた意見交換会」	39名
令和7年6月	身近な水環境の全国一斉調査(6/1～6/20)	9名
令和7年7月18日	定例会（第2回）	17名
令和7年7～8月	親子で水質調査実施	76名
令和7年10月6日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第2回定例会 テーマ「エネルギー対策セミナー」	55名
令和7年10月16日 ～10月17日	省エネ、創エネ最先端施設 視察・見学会 ① 東京ガス横浜テクノステーション(メタネーション) ② 高砂熱学工業イノベーションセンター（蓄熱）	19名
令和7年11月17日	定例会（第3回） 養命酒製造(株) 駒ヶ根工場 工場見学	19名
令和7年11月1日 ～11月2日	南信州環境メッセ2025 出展	109名
令和8年2月24日	定例会（第4回）	18名
令和8年2月18日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム 「ゼロカーボン・シンポジウム2026」開催 ① 講演「脱炭素経営による企業価値向上と人材戦略」 ② 事例発表「株式会社コヤマ 採用活動のご紹介」	64名

(2) 次世代経営者による異業種交流会（交）

講演会や企業見学等を通じて、地域企業の競争力を強化する支援を行った。また地域企業の経営者による交流を促進し、異業種での新分野による連携プロジェクトを構築することで、地域産業の活性化や次世代産業の創出を支援した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 4 月 23 日	令和 7 年度通常総会	27 名
令和 7 年 8 月 20 日	定例会（第 1 回） 工場見学（株ヨウホク）	28 名
令和 7 年 10 月 15 日	研修会 「発達障がい者と共に働く上でのポイント等について」 伊那公共職業安定所 雇用指導官 三浦 大地 氏 「発達障がい者の雇用について」 （独行）高齢・障害求職者雇用支援機構長野支部 長野障がい者職業センター所長 野澤 紀子 氏	19 名
令和 7 年 11 月 5 日	定例会（第 2 回）長野工業振興会との交流事業 工場見学（株高和製作所、不二越機械工業株）	47 名
令和 8 年 2 月 4 日 ～ 2 月 6 日	テクニカルショウヨコハマ 2026 共同ブースで出展 4 社参加	4 名
令和 8 年 2 月 2 日	定例会（第 3 回）設立 30 周年記念講演会 「東京・下町・町工場の挑戦！」 （株浜野製作所 代表取締役 浜野 慶一 氏	44 名
令和 8 年 3 月 25 日	役員会	13 名

(3) 伊那バレー・オープンイノベーション事業（創）

地域企業の固有技術やノウハウの連携を促進し、地域産業の活性化を図るための事業を行った。参加企業の共通的な課題に対し共同で解決に取り組むことで、互いに競争力を高める活動を行った。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 5 月 15 日	開発プロセス効率化分科会⑥	12 名
令和 7 年 5 月 22 日	第 41 回 定例会	8 名
令和 7 年 5 月 27 日	生産性向上（直接）分科会⑨	7 名
令和 7 年 7 月 10 日	開発プロセス効率化分科会⑦	11 名
令和 7 年 9 月 2 日	生産性向上（直接）分科会⑩	7 名
令和 7 年 9 月 25 日	第 42 回 定例会	8 名
令和 7 年 12 月 2 日	第 43 回 定例会	11 名

(4) 製造力強化活動支援事業（人）

省人化、品質向上、コスト低減等に関する講座の開催や生産性向上に先進的に取り組んでいる企業の視察等を実施した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 5 月 30 日	IE 講座（工程改善セミナー：導入編） E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	40 名
令和 7 年 7 月 25 日 8 月 1 日	IE 講座（工程改善セミナー：実践編） E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	34 名
令和 7 年 9 月 5 日 9 月 12 日	IE 講座（工程改善セミナー：活用編） E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	28 名

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 10 月 7 日	先進企業見学会 訪問先：SMC 株式会社 草加第 1 工場	21 名

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

県・市町村等が取り組む産業政策に基づく事業や、地域課題の解決のための事業を推進するため、県・市町村や大学、支援機関等と連携して事業を展開した。

(1) 伊那谷アグリイノベーション事業（交）

産学官で構成する伊那谷アグリイノベーション推進機構と連携し、信州大学農学部 of 技術シーズを活用した新産業を創出することで、地域産業の活性化を支援した。

開催期日	内 容	参加者数
令和 7 年 5 月 16 日	令和 7 年度総会	35 名
令和 7 年 7 月 6 日	第 22 回シンポジウム 「伊那谷の多様な農林資源の活用と可能性」（共催） 基調講演「これからの地域づくり・むらづくりに必要な こと ～農村経営学の視点から～」 信州大学農学部 准教授 内川義行 氏 他 1 講演、パネルディスカッション	70 名
令和 7 年 9 月 9 日	第 9 回 薬草・薬木勉強会	18 名
令和 7 年 10 月 21 日	令和 7 年度 体験講座	15 名
令和 7 年 12 月 18 日	研究助成成果発表および各種勉強会活動報告会	16 名
令和 8 年 3 月 6 日	第 9 回 菌類勉強会	35 名

(2) 子ども科学工作教室（人）

地域の子ども達に「科学技術」や「ものづくり」への関心を高めてもらい、将来の地域産業を担う人材を育成する活動を行った。

地区	名称	開催期日	内 容	会場	参加者数
下伊那 地 区	令和 7 年度 子ども科学 工作教室	令和 7 年 9 月 6 日 11 月 15 日	コードランナー、しお まるを動かそう。 天体望遠鏡をつくろ う、スペースロボを動 かそう。	エス・バー ド(飯田市)	100 名
上伊那 地 区	第 25 回上伊 那子ども科 学工作教室	令和 8 年 1 月 31 日	コードランナー「ボタ ンでプログラムをイ ンプット！自由にロ ボを動かしてみよう」	駒ヶ根市民 交流活性化 センター 「アルパ」	152 名

(3) 地域産業活性化支援事業（人）

地域の課題解決や人材育成に関わる活動へ参画し、産学官連携により地域の産業振興や将来の地域人材の育成等に取り組んだ。

ア 郷土愛プロジェクト全体会議および委員会（全 5 回）

イ 伊那市新産業技術推進協議会（全 4 回）

ウ 伊那市商工業振興審議会（全 1 回）

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

産学官連携や企業連携の基盤となる人的ネットワークづくりのための交流を促進し、地域の企業支援のための情報を共有・連携することで、より有効な支援体制を構築する活動を行った。

(1) 伊那谷バレーネットワーク構築事業（交）

地域の産業支援機関や商工団体・行政が顔が見えるネットワークを構築し、企業支援における連携を強化するための情報交換会などを実施した。運営方法の改善策として、市町村の商工振興関係者を交えた拡大開催を1回、企業支援者などの業務に役立つ知識、情報を収集するためのスキルアップ講座を1回実施した。

開催期日	内 容	参加者数
令和7年4月16日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第9回）	15名
令和7年5月14日	南信州産業支援連携会議	7名
令和7年8月27日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第10回）	19名
令和8年1月21日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第11回）	17名

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 130 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 26 件 デジタルに関する相談件数 36 件
------	---

(2) コーディネート活動（創）

地域企業における新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開をコーディネート活動により支援した。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 130 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 151 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 2 件 ・共同研究、実用化等支援 0 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 0 件（うち採択 0 件） 3 研究会・研修会・その他活動状況 ・研究会 新規：0 件、継続：5 件、終了：0 件 ・主催した研修会、セミナー等 開催回数：46 回、延参加者数：3,258 名

(3) マーケティング支援事業（マ）

受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(4) 共同研究等推進（共）

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援やフォローアップを行った。

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業（8事業）

事業報告の附属明細書

1 基本財産の運用

(1) 満期償還となった有価証券

種類・銘柄等	償還金額	表面利率	償還日
第 845 号 い号商工債（5 年）	200,000 千円	0.12%	R7.10.27
第 846 号 い号商工債（5 年）	100,000 千円	0.10%	R7.11.27
計	300,000 千円		

(2) 満期償還金の運用先

種類・銘柄等	額面金額 (取得価額)	表面利率 (利率)	取得日等	償還日 (満期日)
第 24 回三井住友フィナンシャル・グループ 無担保社債（劣後特約付）（10 年）	300,000 千円 (295,419 千円)	2.345%	R8.2.25	R17.10.21
定期預金（※）	4,581 千円	(0.425%)	R8.2.25 (R8.3.31)	(R9.3.31)
計	300,000 千円			

（※）今後の運用準備資金として保管

2 基本財産の運用状況等

3 役員・評議員等の異動状況

「令和 7 年度事業等の概要」のとおり